

○藤女子大学学則

第1章 総 則

(目的)

第1条 藤女子大学(以下「本学」という。)は、カトリック精神に基づき、教育基本法と学校教育法の定めるところに従い、高等学校教育の基礎の上に、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を研究教授し、高い徳性と知性とを具備する指導的女性を育成することを目的とする。

(大学院)

第1条の2 本学に、大学院を置く。

2 大学院の学則は、別に定める。

(自己点検・評価等)

第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、次の活動等を行う。

- (1) 教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。
- (2) ファカルティ・ディベロップメント(授業内容及び方法を改善し向上を図るために組織的に取り組む活動をいう。)を実施する。
- (3) スタッフ・ディベロップメント(教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、職員を対象とした必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための活動(前号に規定する活動を除く)をいう。)を実施する。

2 前項の点検及び評価等の実施に関する基本的事項は別に定める。

(位置)

第3条 本学を、札幌市北区北16条西2丁目1番1号及び石狩市花川南4条5丁目7番地に設置する。

(学部、学科)

第4条 本学に、次の学部学科を置く。

学 部	学 科
文 学 部	英 語 文 化 学 科
	日 本 語 ・ 日 本 文 学 科
	文 化 総 合 学 科
ウエルビーイング学部	地 域 創 生 学 科
	食環境マネジメント学科
	子 ども 教 育 学 科
人 間 生 活 学 部	人 間 生 活 学 科
	食 物 栄 養 学 科
	子 ども 教 育 学 科

(学部、学科の目的)

第4条の2 文学部は、人文・社会に関する諸分野の教育を通じて、広く、深い知識と鋭敏な感性とを自らのものとし、地域社会のみならずより広範な社会環境において多角的な視野のもとで多様な課題に主体的に取り組み、社会に貢献できる女性を育てることを目的とする。

- (1) 英語文化学科は、国際言語としての英語の運用能力を高めつつ、英語圏の言語文化の社会的・歴史的諸相についての知見を養い、母語を含め、広く言語文化への関心と理解を深めていくことを目指す。その成果をもって、国際社会および地域社会の一員として他と協働し、健全な批判力と構想力をもって、自らを的確に表現することのできる女性を育てることを目的とする。

- (2) 日本語・日本文学科は、日本語学、古典から近現代までの日本文学、日本文化を入門から専門性への段階を踏んだカリキュラムに従い探究し、最終的に卒業研究（論文）を書くことを課している。そこに至るまでに思考力を高め、柔軟にして鋭いものの見方ができる女性を育成する。その結果自立した有能な人間として社会に貢献できる人材を送り出すことが目的である。
 - (3) 文化総合学科は、人間の歴史や思想をふまえて、現代の社会と文化を地球規模で多面的に学び、今日の社会の諸問題に対して柔軟でバランスのとれた対応ができる人材の育成を目的とする。そのために、人文・社会科学に関わる学問分野を基礎から学び、専門分野を絞り込みながら、最終的に卒業研究（論文）を執筆することを課している。
- 2 ウェルビーイング学部は、生命及び人間の尊厳と個人の多様な生き方を尊重し、他者と共存しつつ自立した生活を送り、人間と社会及び自然の相互関係に対する洞察に基づいて、多様化・複雑化してゆく生活の諸課題に責任を持って対処し、国際関係を越えた地球的視野から生活の諸問題を実践的に対処することのできる女性を育てる。
- (1) 地域創生学科は、広く共生社会の実現に貢献するため、多様な価値観をもつ他者との協働的な取り組みを通して、日常生活の課題にしなやかに向き合い、行動し続ける女性の育成を目的とする。そのために、生活・福祉に関わる知識や技能、それらをつなげるプロジェクトを運営する実践力を養うことを目指す。
 - (2) 食環境マネジメント学科は、人間生活（ヒューマン・ライフ）の視点から、人と人との関わりの中でとらえた食と栄養の教育・研究を目指している。そのために、入門から専門への段階を踏んだカリキュラムに従い教育・探究し、その過程で情報リテラシー、思考力・問題解決能力、コミュニケーション能力、専門能力を高め、柔軟にして科学的・客観的なものの見方ができる女性を育成する。その結果、健康・栄養情報をリアルタイムにとらえ、それを人のところに共感しながらやさしく伝えることで生活の質の向上と社会に貢献できる管理栄養士を送り出すことを目的としている。
 - (3) 子ども教育学科では、人が人として成長していくための基礎を築き上げる時期である乳児期から児童期の子どもの成長や子どもにかかわる人びとを支えるために必要な学びを得ることができるカリキュラムを構成しており、地域社会に貢献できる幅広い視野を持ちながら、乳幼児期の子どもと就学後の子どもの教育を連続的に捉えることができる教育者の養成を目指している。4年間の学びを通して、子どもの発達連続性・子どもを取り巻く人びとや社会の状況・各関係機関との連携のあり方などを総合的に捉える思考力を身につけ、学生自らが人間的成長を遂げることができる教育によって、子どもに深くかかわる専門家や、さまざまな立場から子どもの周囲にいる人びとを支えることで社会に貢献する人材を送り出すことを目的としている。
- 3 人間生活学部は、生命及び人間の尊厳と個人の多様な生き方を尊重し、他者と共存しつつ自立した生活を送り、人間と社会及び自然の相互関係に対する洞察に基づいて、多様化・複雑化してゆく生活の諸課題に責任を持って対処し、国際関係を越えた地球的視野から生活の諸問題を実践的に対処することのできる女性を育てる。
- (1) 人間生活学科は、広く共生社会の実現に貢献するため、多様な価値観をもつ他者との協働的な取り組みを通して、日常生活の課題にしなやかに向き合い、行動し続ける女性の育成を目的とする。そのために、生活・福祉に関わる知識や技能、それらをつなげるプロジェクトを運営する実践力を養うことを目指す。
 - (2) 食物栄養学科は、人間生活（ヒューマン・ライフ）の視点から、人と人との関わりの中でとらえた食と栄養の教育・研究を目指している。そのために、入門から専門への段階を踏んだカリキュラムに従い教育・探究し、その過程で情報リテラシー、思考力・問題解決能力、コミュニケーション能力、専門能力を高め、柔軟にして科学的・客観的なものの見方ができる女性を育成する。その結果、健康・栄養情報をリアルタイムにとらえ、それを人のところに共感しながらやさしく伝えることで生活の質の向上と社会に貢献できる管理栄養士を送り出すことを目的としている。
 - (3) 子ども教育学科では、人が人として成長していくための基礎を築き上げる時期である乳児期から児童期の子どもの成長や子どもにかかわる人びとを支えるために必要な学びを得ることができるカリキュラムを構成しており、地域社会に貢献できる幅広い視野を持ちながら、乳幼児期の子

子どもと就学後の子どもの教育を連続的に捉えることができる教育者の養成を目指している。4年間の学びを通して、子どもの発達の連続性・子どもを取り巻く人びとや社会の状況・各関係機関との連携のあり方などを総合的に捉える思考力を身につけ、学生自らが人間的成長を遂げることができる教育によって、子どもに深くかかわる専門家や、さまざまな立場から子どもの周囲にいる人びとを支えることで社会に貢献する人材を送り出すことを目的としている。

(修業年限及び在学年限)

第5条 本学の修業年限を4年とする。ただし在学年数は8年を超えてはならない。

(収容定員)

第6条 第4条に定める各学部学科の入学定員及び収容定員並びに所在地は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員	所 在 地
文 学 部	英 語 文 化 学 科	80名	320名	札幌市北区北16条西2丁目1番1号
	日 本 語 ・ 日 本 文 学 科	80名	320名	
	文 化 総 合 学 科	80名	320名	
ウェルビーイング学部	地 域 創 生 学 科	50名	200名	石狩市花川南4条5丁目7番地
	食環境マネジメント学科	80名	320名	
	子 ども 教 育 学 科	80名	320名	
人間生活学部	人 間 生 活 学 科	-	-	
	食 物 栄 養 学 科	-	-	
	子 ども 教 育 学 科	-	-	

第2章 学年、学期及び休業日

(学年)

第7条 学年は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第8条 学年を分けて、次の2期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第9条 休業日を、次のように定める。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律に定める休日

(3) 本学創立記念日(9月28日)

(4) 夏季休業、8月1日から9月14日まで

(5) 冬季休業、12月16日から翌年1月14日まで

(6) 春季休業、3月21日から4月5日まで

2 休業日については、必要と認める場合に変更することがある。

第3章 授業科目及び単位

(授業科目)

第10条 文学部の授業科目は、基盤教育科目、学科専門科目及び教職に関する科目とする。

- 2 文学部の授業科目とその単位数は、別表第1-1(1)、別表第2、別表第3(1)から別表第3(3)及び別表第5(1)のとおりとする。
- 3 キリスト教学専修による卒業研究を可能にするために、文学部オープン科目を設ける。

第11条 ウェルビーイング学部の授業科目は、基盤教育科目、学科専門科目及び教職に関する科目とする。人間生活学部の授業科目は、大学共通科目、学科専門科目及び教職に関する科目とする。

- 2 ウェルビーイング学部の授業科目とその単位数は、別表第1-1(2)、別表第4-1(1)から別表第4-1(3)及び別表第5(2)のとおりとする。
- 3 人間生活学部の授業科目とその単位数は、別表第1-2(1)、別表第1-2(2)、別表第4-2(1)から別表第4-2(3)及び別表第5(3)のとおりとする。

第11条の2 図書館情報学課程の授業科目とその単位数は、別表第11のとおりとする。

- 2 文学部の日本語教員養成課程の授業科目とその単位数は、別表第12のとおりとする。

(卒業研究)

第12条 卒業研究の審査に関する規程は別に定める。

第13条 削除

第14条 削除

第15条 削除

(一年間の授業期間)

第16条 一年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(単位の算定基準)

第17条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とし、科目によってその基準は異なる。

(2) 実験、実習、実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とし、科目によってその基準は異なる。

- 2 前項各号の規定にかかわらず、卒業研究の授業科目については、学修の成果を評価し所定の単位を授与する。

第4章 履修方法及び卒業の要件

(履修方法)

第18条 本学卒業の認定を受けるためには、学生は別表第6(1)から別表第7-2(3)に定める科目及び単位を履修しなければならない。

- 2 履修に関する規程は、別に定める。

(単位の授与)

第19条 前条による必要単位修得の認定は、各授業科目の成績及び履修時数によって行う。

- 2 前項の認定に必要な授業科目の成績は試験によって定める。ただし、レポートその他の成績をもってこれに代えることができる。

3 授業科目の成績の評価は、A+(100~91点)、A(90~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、F(59点以下)とし、A+、A、B及びCを合格とする。

- 4 第1項の単位認定に必要な授業科目の履修時数については、その授業時数の3分の2以上であることを原則とする。

- 5 試験に関する規程は、別に定める。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第19条の2 本学が教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該他の大学又は短期大学の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定により、学生が修得した単位は、60単位を超えない範囲で本学において修得した単位と見なすことができる。

3 前2項の規定は、学生が海外留学協定校に留学する場合及び国内他大学との学生交流協定に基づき派遣される場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第19条の3 本学は、教育上有益と認める場合は、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修、海外単位認定指定校の語学センター等の学修を本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第19条の4 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む)を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項により修得したものとみなし、与えることができる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第19条の2第2項及び前条第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(遠隔授業)

第19条の5 本学が教育上有益と認めるときは、平成13年文部科学省告示第51号に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

2 前項の授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

(卒業の認定)

第20条 本学に4年以上在学し、第18条及び履修要項に定める授業科目及び単位を修得した者には、教授会の具申を経て卒業を認定する。

(学位の授与)

第21条 本学を卒業した者には、卒業証書を授与するとともに学士の学位を授与する。

2 本学において授与する、学士の学位に付記する専攻分野の名称は、次のとおりとする。

文 学 部	英語文化学科	学士(文学)
	日本語・日本文学科	学士(文学)
	文化総合学科	学士(文学)
ウェルビーイング学部	地域創生学科	学士(生活科学)
	食環境マネジメント学科	学士(食物栄養学)
	子ども教育学科	学士(教育学)
人 間 生 活 学 部	人間生活学科	学士(人間生活学)
	食物栄養学科	学士(食物栄養学)
	子ども教育学科	学士(教育学)

(教育職員免許状授与の所要資格の取得)

第22条 教育職員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法並びに同法

施行規則の定めるところに従って、本学が定めた所定の科目について必要な単位を修得しなければならない。教育職員の免許状取得に関する履修要項は別に定める。

- 2 前項に規定する所定の単位を修得した者が取得できる教育職員の免許状の種類と免許教科の種類は、別表第8のとおりとする。

(保育士の資格の取得)

第22条の2 ウェルビーイング学部子ども教育学科、および人間生活学部子ども教育学科の学生で保育士の資格を取得しようとする者は、児童福祉法並びに同法施行規則の定めるところに従って、本学が定めた所定の科目について、必要な単位を修得しなければならない。

- 2 前項の資格を取得しようとする者が第27条による転入学または編入学をした者である場合には文部科学大臣の認可した大学でかつ指定保育士養成施設である大学で修得した授業科目を、30単位を超えない範囲で当該教科目に相当する本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。また、指定保育士養成施設以外の大学で修得した授業科目の場合は、本学で設定する教養科目、学校独自の科目に相当する授業科目について30単位を超えない範囲で修得したものとみなすことができる。

(司書又は司書教諭となる資格の取得)

第22条の3 司書となる資格又は司書教諭となる資格を取得しようとする者のため、図書館情報学課程を置く。

- 2 前項の資格を取得しようとする者は、別表第11の(1)又は(2)に定める科目及び単位を修得しなければならない。
- 3 図書館情報学課程に関する事項は、別に定める。

(日本語教員養成課程)

第22条の4 文学部に日本語教員養成課程を置く。

- 2 日本語教員養成課程を履修しようとする者は、別表第12に定める科目及び単位を修得しなければならない。
- 3 日本語教員養成課程に関する事項は、別に定める。

(社会福祉士国家試験受験資格の取得)

第22条の5 人間生活学科の学生で社会福祉士国家試験受験資格を取得しようとする者は、社会福祉士及び介護福祉士法並びに社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則等の定めるところに従って、本学が定めた所定の科目について、必要な単位を修得しなければならない。

- 2 前項に係る実習演習科目の履修方法については、別表第13のとおりとする。

(管理栄養士国家試験受験資格の取得)

第22条の6 ウェルビーイング学部食環境マネジメント学科、及び人間生活学部食物栄養学科の学生で管理栄養士国家試験受験資格を取得しようとする者は、栄養士法及び管理栄養士学校指定規則の定めるところに従って、本学が定めた所定の科目について、必要な単位を修得しなければならない。

- 2 前項に係る科目の履修方法については、ウェルビーイング学部食環境マネジメント学科は別表第14(1)、人間生活学部食物栄養学科は別表第14(2)のとおりとする。

第5章 入学、退学、休学、留学並びに転部、転科及び懲戒等

(入学の時期)

第23条 学生を入学させる時期は、毎学年の始めとする。

第24条 入学検定は、人物、学力及び身体について行う。

(入学資格)

第25条 本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当する女性とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (7) その他本学において、相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

第26条 入学を志願する者は、次の各号の書類に、別表第9に定める検定料を添えて所定の期日までに提出しなければならない。

- (1) 入学願書
- (2) 出身学校調査書

（転入学、編入学）

第27条 次の各号の一に該当する者については、特別の選考により入学を許可することがある。

- (1) 他の大学から本学に転入学を希望する者
- (2) 他の大学に2年以上在学した者または短期大学を卒業した者で本学の3年次に編入学を希望する者

第28条 前条第1号または第2号により本学に入学を許可された者の、入学前に履修して修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)について、その一部または全部を本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 編入学及び転入学に関する規程は、別に定める。

（再入学）

第29条 本学を退学し、同一学科に再入学を希望する者がある場合は、特別の選考により再入学を許可することがある。

2 再入学に関する規程は、別に定める。

（転部、転科）

第29条の2 所属する学部の学科から他の学部の学科に転ずることを志願する者がいる場合は、選考の上当該教授会の具申を経て、転部を許可することがある。

2 所属する学部の学科から同一学部の他の学科に転ずることを志願する者がいる場合は、選考の上当該教授会の具申を経て、転科を許可することがある。

3 転部、転科に関する規程は、別に定める。

（入学手続）

第30条 入学を許可された者は、保証人連署の本学所定の誓約書に住民票記載事項証明書及び入学金その他所定の諸納付金を添えて、指定期日までに提出しなければならない。

（保証人）

第31条 保証人は、その学生の父母または独立の生計を営む成年者でなければならない。

第32条 保証人は、その学生の在学中、本人にかかるいっさいの事項につき、連帯の責任を負わなければならない。

第33条 保証人を不適当と認めた場合は、これを変更させることがある。

第34条 保証人が転籍、転居または改姓した場合は、その旨ただちに届け出なければならない。

第35条 保証人が死亡その他の事由でその責を尽くし得ない場合は、新たにその承継者を定めて

届け出なければならない。

(退学)

第36条 やむを得ない事由により退学しようとする者は、その事由を詳記した保証人連署の退学願を提出して許可を受けなければならない。

(休学)

第37条 病気またはやむを得ない事由により2か月以上引きつづき出席できない者は、医師の診断書を添え、または詳細に事由を具して、保証人連署の休学願を提出し、許可を得て休学することができる。休学期間は4年以内とし、第5条の在学期間に算入しない。

(復学)

第38条 病気またはやむを得ない事由により休学中の者で、その事由が消滅して復学しようとする場合には、医師の診断書またはその理由書を添え、保証人連署の復学願を提出して許可を受けなければならない。

(留学)

第38条の2 本学との間に協定を結んでいる外国及び国内の大学で授業科目の履修を希望する者がある場合は審査の上、それを許可することがある。

2 前項の留学の期間は1年以内とし、在学年数に通算する。

3 第19条の2の規定は、留学する場合に準用する。

4 留学に関する規程は、別に定める。

(除籍及び復籍)

第38条の3 次の各号のいずれかに該当する場合は、教授会の具申を経て除籍とする。

(1) 第5条に定める在学年限を超えた者

(2) 第37条に規定する休学期間を超えなお修学できない者

(3) 正当の事由なくして授業料その他の納付金を、所定の期間に納入しない者

(4) 行方不明の者

2 前項第3号により除籍となった者が復籍を願い出たときは、当該教授会の具申を経て、学長がこれを許可することがある。

3 復籍に関する規程は、別に定める。

(懲戒)

第39条 学則に違背し、あるいは学生の本分に反する行為のあった者は、懲戒処分とする。

第40条 懲戒は、譴責、停学及び退学の三種とし、次の各号の一に該当する者には、教授会の具申を経て学長が退学を命ずることがある。

(1) 性行不良にして改しゅんの見込がない者

(2) 学業劣等にして成業の見込がない者

(3) 正当の事由なくして出席常でない者

(4) 学内の秩序を乱し、学生の本分に反する者

2 懲戒に関する取り扱いは、別に定める。

第6章 学 費

(授業料等)

第41条 学生は、別表第10に定める授業料その他の納付金を所定の期日に納入しなければならない。

(授業料等の免除)

第42条 学生の生活の実情と成績により、入学後の学費の全部または一部を免除し、または貸与することがある。

第42条の2 第27条第1号または第2号により本学に入学を許可された者の入学金は徴収しない。

(実験実習費等)

第43条 実験、実習費等については、その実費を徴収する。

(休学・卒業延期者の授業料等)

第44条 休学する者には、前期または後期の全期間にわたる場合に各期につき50,000円の在籍料を徴収する。

2 休学期間中の授業料は徴収しない。ただし学期の中途において休学もしくは復学した者は、その全期間の授業料を徴収する。

3 前項のただし書きの休学者から在籍料は徴収しない。

4 卒業延期者の授業料その他の納付金は別に定める。

(授業料等の不返還)

第45条 いったん納入した授業料その他の納付金は、いっさい返還しない。

第46条 削除

第7章 職員組織

(職員組織)

第47条 本学に、学長、副学長、教授、准教授、講師、助教、助手及び事務職員を置く。

第47条の2 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどることができる。

第48条 学長及び副学長は学校法人藤天使学園の理事長が任免する。

第49条 教授、准教授、講師、助教及び助手は学長の上申に基づいて、学校法人藤天使学園の理事長が任免する。

第50条 本学の学部には学部長、学科に学科主任、教務部、学生部、入試部に部長及び図書館に図書館長を置く。

第51条 学部長、学科主任、教務部長、学生部長、入試部長及び図書館長は、学長が任免する。

第52条 本学に、顧問を置くことができる。

第8章 評議会及び教授会

(評議会)

第53条 本学に、評議会を置く。

2 評議会は、次に掲げる者をもって組織する。

(1) 学長

(2) 副学長

(3) 各学部長、研究科長

(4) 教務部長、学生部長、入試部長、図書館長

(5) 各学科主任、各専攻主任

(6) 各学部教授会から推薦を受けた各3名の教授

(7) 事務局長

3 評議会は、学長が次に掲げる事項について決定を行なうに当たり意見を述べるものとする。

(1) 文学部、ウェルビーイング学部、人間生活学部及びウェルビーイング学研究科間の連絡調整に

関する事項

- (2) 教務部長、学生部長、入試部長、図書館長の選考に関する事項
- (3) 入学試験に関する事項
- (4) 自己点検・評価に関する事項
- (5) その他、大学の教育研究に関する重要な事項で、評議会の意見を聞くことが必要なものとして学長が定めるもの。

第54条 評議会の運営に関する事項は別に定める。

(教授会)

第55条 本学の学部教授会を置く。

2 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行なうに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業
- (2) 学位の授与
- (3) 前各号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聞くことが必要なものとして学長が定めるもの。

3 教授会は前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

第56条 教授会の組織及び運営に関する事項は、別に定める。

第57条 削除

第9章 委託学生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生、 交換留学生、交流学生及び外国人留学生

(委託学生)

第58条 官公庁、法人または外国政府から教育を委託された者を委託学生とする。

2 委託学生に関する事項については別に定める。

(科目等履修生)

第59条 本学の授業科目のうち、1または複数の授業科目を履修する者を科目等履修生とする。

2 科目等履修生として履修を希望する者のある場合は、学生の履修に支障のない限り選考の上許可することがある。

3 科目等履修生には、試験の上合格者には、単位を与えるものとする。

4 科目等履修生に関する規程は、別に定める。

5 法令等により特別に開設した授業科目を受講する者も科目等履修生として前2項及び3項を適用することとし、当該科目の運営等については別に定める。

(聴講生)

第60条 本学の授業科目のうち、1または複数の授業科目を聴講する者を聴講生とする。

2 聴講生として聴講を希望する者のある場合は、学生の履修に支障のない限り選考の上許可することがある。

3 聴講生に関する規程は、別に定める。

(特別聴講学生)

第60条の2 他の大学又は短期大学の学生で、本学において特定の授業科目を履修することを希望する者がある場合は、当該他大学との協議に基づき、特別聴講学生として履修を許可することがある。

2 特別聴講学生に関する規程は、別に定める。

(交換留学生)

第61条 本学との交換留学協定に基づき、外国の大学から派遣された学生を交換留学生とする。
2 交換留学生に関する規程は別に定める。

(交流学生)

第61条の2 本学と国内の他大学との学生交流協定に基づき、当該他大学から派遣された学生を交流学生とする。

2 交流学生に関する規程は別に定める。

第62条 委託学生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生、交換留学生、交流学生及び外国人留学生には、本学学生に関する諸規程を準用する。

(外国人留学生)

第63条 外国人にして入学を希望する者がある場合は、選考の上許可することがある。

2 前項に係わる外国人留学生に関する規程は、別に定める。

第10章 図書館

(図書館)

第64条 本学に図書館を設ける。

第65条 図書館に関する細則は別に定める。

附 則

本学則は、昭和36年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和38年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和39年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成3年10月16日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 2 第6条の規定にかかわらず、平成4年度から平成11年度までの間の文学部の入学定員は、次の表の通りとする。

学 部	学 科	入学定員
文 学 部	英 文 学 科	80 名
	国 文 学 科	80 名

- 3 第6条の規定にかかわらず、平成4年度から平成6年度までの間の人間生活学部の収容定員は、次の表の通りとする。

年度	学部	人間生活学部	
	学科	人間生活学科	食物栄養学科
平成4年度		80 名	50 名
平成5年度		160 名	100 名
平成6年度		240 名	150 名

附 則

本学則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 平成8年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、平成9年4月1日から施行する。

- 2 平成9年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

学部 科目	文 学 部		人間生活学部	
	英文学科	国文学科	人間生活学科	食物栄養学科
一般教育科目	人文、社会及び自然の3分野にわたり、それぞれ2科目以上8単位以上 合計36単位以上		人文、社会及び自然の3分野の選択科目の中から、それぞれ2科目以上8単位以上、必修科目を含め合計38単位以上	
外国語科目	独語・仏語のうち1外国語 8単位以上	英語・独語・仏語のうち1外国語 8単位以上		
保健体育科目	講義及び実技各2単位計4単位			
専門教育科目	76単位以上		86単位以上	
合 計	124単位以上		136単位以上	

附 則

本学則は、平成9年12月3日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 平成10年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 平成10年3月31日に在学する者に係る保証人については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 第6条の規定にかかわらず、平成12年度から平成14年度までの間の文学部文化総合学科、人間生活学部食物栄養学科及び保育学科の収容定員は、次の表のとおりとする。

年度	学部 学科	人 間 生 活 学 部		
		文 学 部 文化総合学科	食物栄養学科	保 育 学 科
平成12年度		80名	230名	160名
平成13年度		160名	260名	320名
平成14年度		240名	290名	320名

- 3 平成12年3月31日に文学部英文学科、国文学科及び人間生活学部人間生活学科、食物栄養学科に在学する者にかかわる授業科目及び単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

本学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成13年8月1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 平成14年3月31日に人間生活学部人間生活学科、食物栄養学科、保育学科に在学する者にかかわる授業科目及び単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

本学則は、平成14年12月7日から施行する。

附 則

本学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、2004年4月1日から施行する。
- 2 2004年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2005年4月1日から施行する。
- 2 2005年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 別表第5の2に掲げる科目及び別表第6の教職に関する科目のうち、栄養教諭免許状を取得するための科目は2004年度入学生から適用する。ただし、2004年度入学生については卒業要件には含まれない。

附 則

- 1 本学則は、2006年4月1日から施行する。
- 2 2006年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

本学則は、2007年1月1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、2007年4月1日から施行する。
- 2 2007年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2008年4月1日から施行する。
- 2 2008年3月31日に在学する者にかかわる別表第7及び別表第8を除く別表は、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 2008年3月31日に人間生活学部食物栄養学科に在学する者にかかわる別表第8の2の表中、必修単位及び選択単位については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2009年4月1日から施行する。
- 2 2009年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 別表第5の2に掲げる科目のうち、フードスペシャリスト受験資格取得にかかわる「食品流通経済論」、「フードコーディネイト論」及び「フードスペシャリスト論」は、2008年度以前に人間生活学部食物栄養学科に在学する者にも適用する。ただし、2008年度以前入学生については卒業要件には含まれない。

附 則

- 1 本学則は、2010年4月1日から施行する。

- 2 2010年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2011年4月1日から施行する。
- 2 2011年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2012年4月1日から施行する。
- 2 2012年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2013年4月1日から施行する。
- 2 2013年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 別表第3に掲げる科目のうち、「教職実践演習(中・高)」は、2009年度以前に入学し文学部に在学する者の履修を認める。ただし、卒業要件には含まれない。
- 4 別表第6に掲げる科目のうち、「教職実践演習(中・高)」は、2009年度以前に入学し人間生活学部人間生活学科に在学する者、「教職実践演習(栄養教諭)」は、2009年度以前に入学し人間生活学部食物栄養学科に在学する者の履修を認める。ただし、卒業要件には含まれない。

附 則

- 1 本学則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 2014年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2015年4月1日から施行する。
- 2 2015年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2016年4月1日から施行する。
- 2 2016年3月31日に在学する者にかかわる授業科目、成績評価及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2017年4月1日から施行する。
- 2 2017年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2018年4月1日から施行する。
- 2 2018年3月31日に在学する者の学部、学科の目的、授業科目及び履修単位数は、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2019年4月1日から施行する。
- 2 2019年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 別表第5（1）及び（2）に掲げる科目のうち、「英語科教育法Ⅲ・Ⅳ」「国語科教育法Ⅱ・Ⅲ」「特別支援教育論」「特別活動・総合的な学習の時間の指導法」「北海道の教育」は、2019年度及び2020年度に3年次編入学した者の履修を認める。ただし、卒業要件には含まれない。

附 則

- 1 本学則は、2020年4月1日から施行する。
- 2 2020年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 保育学科及び子ども教育学科の収容定員は第6条の規定にかかわらず、2020年度から2023年度までは次のとおり定める。保育学科は2020年度から募集を停止し、学生が在籍しなくなるのをまって廃止する。

年度	学部	人間生活学部	
	学科	保育学科	子ども教育学科
2020年度		240名	80名
2021年度		160名	160名
2022年度		80名	240名
2023年度		—	320名

- 4 2020年3月31日に在学する保育学科の学生については、改正後の規定にかかわらず、学生が在籍しなくなる日までの間、なお従前の例による。
- 5 第19条の5第1項及び第2項は2020年4月1日に在籍する学生から適用する。

附 則

- 1 本学則は、2021年4月1日から施行する。
- 2 2021年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2022年4月1日から施行する。
- 2 英語文化学科、日本語・日本文学科、文化総合学科及び人間生活学科の収容定員は第6条の規定にかかわらず、2022年度から2024年度までは次のとおり定める。

年度	学部	文学部			人間生活学部
	学科	英語文化学科	日本語・日本文学科	文化総合学科	人間生活学科
2022年度		330名	330名	330名	290名
2023年度		340名	340名	340名	260名
2024年度		350名	350名	350名	230名

- 3 2022年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 別表第5（1）及び（2）に掲げる科目のうち、「教育現場でのICT活用」は、2022年度及び2023年度に3年次編入学した者の履修を認める。ただし卒業要件には含まれない。

附 則

- 1 本学則は、2023年4月1日から施行する。
- 2 2023年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2024年4月1日から施行する。
- 2 2024年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2024年12月14日から施行する。
- 2 2025年3月31日まで休学する者については、第44条は従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2025年4月1日から施行する。
- 2 2025年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 各学部各学科の収容定員は第6条の規定にかかわらず、2025年度から2027年度までは次のとおり定める。

学部 学科 年度	文学部			ウェルビーイング学部			人間生活学部		
	英語文化 学科	日本語・ 日本文学 科	文化総合 学科	地域創生 学科	食環境マ ネジメン ト学科	子ども教 育学科	人間生活 学科	食物栄養 学科	子ども教 育学科
2025 年度	350名	350名	350名	50名	80名	80名	150名	240名	240名
2026 年度	340名	340名	340名	100名	160名	160名	100名	160名	160名
2027 年度	330名	330名	330名	150名	240名	240名	50名	80名	80名

- 4 別表第4-2(2)に掲げる区分「基礎栄養学」の科目のうち「栄養学実験」は2023年度入学生から適用する。
- 5 別表第14(2)に掲げる区分「基礎栄養学」の科目のうち「栄養学実験」は2023年度入学生から適用する。

附 則

- 1 本学則は、2025年9月20日から施行する。
- 2 第42条の2は、2026年度に入学する者から適用する。

附 則

- 1 本学則は、2026年4月1日から施行する。
- 2 2026年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 別表第5に掲げる科目のうち、「教育実習I A」及び「教育実習I B」の履修単位数については、2026年3月31日に在学する、2024年度入学生及び2025年度入学生についても改正後の規定を適用する。

別表第1-1 基盤教育科目

(1) 文学部開講科目

区分		授業科目	開設 単位数	必修 単位数	選択 単位数	備考
① 建学の理念科目	キリスト教科目	キリスト教概論	2	2		6科目の中から 1科目以上 選択必修
		キリスト教と藤女子大学	2		2	
		キリスト教人間学 A	2		2	
		キリスト教人間学 B	2		2	
		聖書概論 A	2		2	
		聖書概論 B	2		2	
		宗教と文化	2		2	
② スタートアップセミナー		スタートアップセミナー	1	1		
③ 教養実践科目	形成 キャリア	キャリアデザインⅠ	1	1		
		キャリアデザインⅡ	1		1	
		インターンシップ	2		2	
	数理・データサイエンス・ AI教育	データサイエンス基礎Ⅰ	2	2		
		データサイエンス基礎Ⅱ	2		2	
		データ分析演習	2		2	
		プログラミング演習	2		2	
		情報処理の基礎	1		1	
		数学	2		2	
		統計学	2		2	
	身体と 科学	運動の実践A	1		1	
		運動の実践B	1		1	
		運動の科学	2		2	
	④ 教養コア科目	文学部共通	グローバル文化論	2		
経済学			2		2	
社会学			2		2	
音楽			2		2	
美術論			2		2	
環境科学			2		2	
生命科学			2		2	
健康の科学			2		2	
ジェンダー論			2		2	
社会福祉学			2		2	
子ども学			2		2	
ライフステージ栄養学			2		2	
文学部各学科科目		英語圏文学概論a	2		2	日本語・日本文学科、 文化総合学科の学生 は基盤教育科目として履修可
		英語圏文学概論b	2		2	
		英語学概論a	2		2	
		英語学概論b	2		2	
		言語学概論a	2		2	
		言語学概論b	2		2	
		コミュニケーション概論a	2		2	
コミュニケーション概論b	2		2			

	日本語学A	2		2	英語文化学科、文化 総合学科の学生は基 盤教育科目として履 修可
	日本語学B	2		2	
	日本古典文学A	2		2	
	日本古典文学B	2		2	
	日本古典文学C	2		2	
	日本近現代文学A	2		2	
	日本近現代文学B	2		2	
	日本文化A	2		2	
	日本文化B	2		2	
	日本文化D	2		2	
	漢文学	2		2	
	日本国憲法	2		2	英語文化学科、日本 語・日本文学科の学 生は基盤教育科目と して履修可
	心理学	2		2	
	異文化コミュニケーション論	2		2	
	国際関係論	2		2	
	西洋史	2		2	
	日本史A	2		2	
	日本史B	2		2	
	哲学	2		2	
	倫理学	2		2	
⑤藤プロジェクト	プロジェクト入門	2		2	
	プロジェクト実践	2		2	
⑥外国語科目	Academic Communication I	1		1	日本語・日本文学科、 文化総合学科
	Academic Communication II	1		1	
	Essential Vocabulary & Grammar	1		1	
	Interactive English A	1		1	
	Interactive English B	1		1	
	Academic Reading I	1		1	
	Academic Reading II	1		1	
	Academic Listening & Note-taking	1		1	
	Academic Speaking & Discussion	1		1	
	CLIL English A	1		1	
	CLIL English B	1		1	
	Skills for IELTS I	1		1	
	Skills for IELTS II	1		1	
	留学事前セミナー	1		1	
	留学事後セミナー	1		1	
	Practical English A	1		1	
	Practical English B	1		1	
	Practical English C	1		1	
	Practical English D	1		1	
	TOEIC Starter A	1		1	
	TOEIC Starter B	1		1	
	TOEIC Intermediate A	1		1	
	TOEIC Intermediate B	1		1	
	TOEIC Advanced A	1		1	
	TOEIC Advanced B	1		1	
	English for Global Communication A	1		1	

English for Global Communication B	1		1	
初級ドイツ語 A I	1		1	
初級ドイツ語 A II	1		1	
初級ドイツ語 B I	1		1	
初級ドイツ語 B II	1		1	
中級ドイツ語 A I	1		1	
中級ドイツ語 A II	1		1	
中級ドイツ語 B I	1		1	
中級ドイツ語 B II	1		1	
上級ドイツ語 I	1		1	
上級ドイツ語 II	1		1	
初級フランス語 A I	1		1	
初級フランス語 A II	1		1	
初級フランス語 B I	1		1	
初級フランス語 B II	1		1	
中級フランス語 A I	1		1	
中級フランス語 A II	1		1	
中級フランス語 B I	1		1	
中級フランス語 B II	1		1	
上級フランス語 I	1		1	
上級フランス語 II	1		1	
初級中国語 A I	1		1	
初級中国語 A II	1		1	
初級中国語 B I	1		1	
初級中国語 B II	1		1	
中級中国語 A I	1		1	
中級中国語 A II	1		1	
中級中国語 B I	1		1	
中級中国語 B II	1		1	
上級中国語 I	1		1	
上級中国語 II	1		1	
中国語実践演習 A	2		2	
中国語実践演習 B	2		2	
中国語文献読解演習 A	2		2	
中国語文献読解演習 B	2		2	
初級韓国語 A I	1		1	
初級韓国語 A II	1		1	
初級韓国語 B I	1		1	
初級韓国語 B II	1		1	
中級韓国語 A I	1		1	
中級韓国語 A II	1		1	
中級韓国語 B I	1		1	
中級韓国語 B II	1		1	
上級韓国語 I	1		1	
上級韓国語 II	1		1	
韓国語実践演習 A	2		2	
韓国語実践演習 B	2		2	
韓国語文献読解演習 A	2		2	

韓国語文献読解演習 B	2		2	
日本語(口頭表現Ⅰ)	2		2	留学生対象
日本語(口頭表現Ⅱ)	2		2	
日本語(読解)	1		1	
日本語(文章表現Ⅰ)	1		1	
日本語(文章表現Ⅱ)	1		1	
日本語(総合 A)	1		1	
日本語(総合 B)	1		1	
オンライン語学研修 A	2		2	
オンライン語学研修 B	2		2	
オンライン語学研修 C	1		1	
オンライン語学研修 D	1		1	
オンライン語学研修 E	1		1	
オンライン語学研修 F	1		1	
海外語学研修 A	2		2	
海外語学研修 B	2		2	
海外語学研修 C	2		2	
海外語学研修 D	1		1	
海外語学研修 E	1		1	
海外語学研修 F	1		1	
計	229	6	223	

< 第10条関係 >

(2)ウェルビーイング学部開講科目

区分		授 業 科 目	開設 単位数	必修 単位数	選択 単位数	備 考
①建学の理念科目	キリスト教科目	キリスト教概論	2	2		} 6科目の中から 1科目以上 選択必修
		キリスト教と藤女子大学	2		2	
		キリスト教人間学 A	2		2	
		キリスト教人間学 B	2		2	
		聖書概論 A	2		2	
		聖書概論 B	2		2	
		宗教と文化	2		2	
②スタートアップ セミナー		スタートアップセミナー	1	1		
③教養実践科目	形成 キャリア	キャリアデザイン I	1	1		
		数理・データサイエンス・ AI教育	データサイエンス基礎 I	2	2	
	データサイエンス基礎 II		2		2	
	データ分析演習		2		2	
	プログラミング演習		2		2	
	情報処理の基礎		1		1	
	数学		2		2	
	統計学	2		2		
	科学 身体と	運動の実践A	1		1	
		運動の実践B	1		1	
		運動の科学	2		2	
	④教養コア科目		日本国憲法	2		2
経済学			2		2	
社会学			2		2	
心理学			2		2	
音楽			2		2	
美術論			2		2	
環境科学			2		2	
生命科学			2		2	
健康の科学			2		2	
ジェンダー論			2		2	
文学			2		2	
異文化コミュニケーション			2		2	
国際関係論			2		2	
⑤藤プロジェクト		プロジェクト入門	2		2	
		プロジェクト実践	2		2	
⑥外国語科目		Academic Communication I	1	1		※
		Academic Communication II	1	1		※
		Essential Vocabulary & Grammar	1		1	
		Interactive English A	1		1	
		Interactive English B	1		1	
		Practical English A	1		1	

Practical English B	1	1
Academic Reading I	1	1
Academic Reading II	1	1
TOEIC Starter A	1	1
TOEIC Starter B	1	1
初級ドイツ語 I	1	1
初級ドイツ語 II	1	1
中級ドイツ語 I	1	1
中級ドイツ語 II	1	1
上級ドイツ語 I	1	1
上級ドイツ語 II	1	1
初級フランス語 I	1	1
初級フランス語 II	1	1
中級フランス語 I	1	1
中級フランス語 II	1	1
上級フランス語 I	1	1
上級フランス語 II	1	1
初級中国語 I	1	1
初級中国語 II	1	1
中級中国語 I	1	1
中級中国語 II	1	1
上級中国語 I	1	1
上級中国語 II	1	1
中国語実践演習 A	2	2
中国語実践演習 B	2	2
初級韓国語 I	1	1
初級韓国語 II	1	1
中級韓国語 I	1	1
中級韓国語 II	1	1
上級韓国語 I	1	1
上級韓国語 II	1	1
韓国語実践演習 A	2	2
韓国語実践演習 B	2	2
日本語（口頭表現 I）	2	2
日本語（口頭表現 II）	2	2
日本語（読解）	1	1
日本語（文章表現 I）	1	1
日本語（文章表現 II）	1	1
日本語（総合 A）	1	1
日本語（総合 B）	1	1
海外語学研修 A	2	2
海外語学研修 B	2	2
海外語学研修 C	2	2
海外語学研修 D	1	1
海外語学研修 E	1	1
海外語学研修 F	1	1
オンライン語学研修 A	2	2
オンライン語学研修 B	2	2

} 交換留学生
及び外国人
留学生対象

オンライン語学研修 C	1		1
オンライン語学研修 D	1		1
オンライン語学研修 E	1		1
オンライン語学研修 F	1		1
計	132	8	124

※第 63 条に定める外国人留学生の区分「外国語科目」の履修については、英語が母語（第一言語）、母国における公用語、又はそれに準ずる日常語（例：中等教育の主たる教授言語）に該当する場合は、ウェルビーイング学部における英語必修科目（**Academic Communication I・II**）の単位は、英語以外の外国語科目（留学生日本語科目を含む）の単位をもって充当できるものとする。

< 第11条関係 >

別表第1-2 大学共通科目

(1)教養科目

区分	授 業 科 目	開設 単位数	必修 単位数	選択 単位数	備 考
人間と宗教	キリスト教概論	2	2		} 6科目の中から 1科目以上 選択必修
	キリスト教と藤女子大学	2		2	
	キリスト教人間学 A	2		2	
	キリスト教人間学 B	2		2	
	聖書概論 A	2		2	
	聖書概論 B	2		2	
	宗教と文化	2		2	
キャリア形成 ジェンダー・	女性とキャリア I	1	1		文学部学生のみ対象
	女性とキャリア II	1		1	
	女性と労働	2		2	
	女性と法律	2		2	
	ジェンダー論	2		2	
国際理解	文化人類学	2		2	
	異文化コミュニケーション	2		2	
	国際関係論	2		2	
	国際理解教育	2		2	
社会と文化	経済学	2		2	
	社会学	2		2	
	日本国憲法	2		2	
	心理学	2		2	
	音楽	2		2	
	美術論	2		2	
	日本語文学	2		2	
	英語圏文学	2		2	
	アジア圏文学	2		2	
	言語学	2		2	
	子ども学	2		2	
歴史・思想	西洋史	2		2	
	日本史 A	2		2	
	日本史 B	2		2	
	東洋史	2		2	
	哲学	2		2	
倫理学	2		2		
自然・科学	環境科学	2		2	
	自然と化学	2		2	
	生命科学	2		2	
	数学	2		2	
	物理学	2		2	
健康	ライフステージ栄養学	2		2	
	健康の科学	2		2	
	運動の科学	2		2	
	運動の実践 A	1		1	
	運動の実践 B	1		1	

リテラシー	文章表現	2		2	
	統計学	2		2	
	情報処理の基礎	1		1	
	データサイエンス基礎Ⅰ	2		2	
	データサイエンス基礎Ⅱ	2		2	
計		91	3	88	

<第11条関係>

(2)外国語科目 人間生活学部開講科目

授業科目	開設 単位数	必修 単位数	選択 単位数	備考
Academic Communication Ⅰ	1	1		
Academic Communication Ⅱ	1	1		
Essential Vocabulary & Grammar	1		1	
Interactive English A	1		1	
Interactive English B	1		1	
Practical English A	1		1	
Practical English B	1		1	
Academic listening & Note-taking	1		1	
Academic Speaking & Discussion	1		1	
Academic Reading Ⅰ	1		1	
Academic Reading Ⅱ	1		1	
Skills for the TOEFL Ⅰ	1		1	
Skills for the TOEFL Ⅱ	1		1	
English for Global Communication	1		1	
CLIL English	1		1	
初級ドイツ語Ⅰ	1		1	
初級ドイツ語Ⅱ	1		1	
中級ドイツ語Ⅰ	1		1	
中級ドイツ語Ⅱ	1		1	
上級ドイツ語Ⅰ	1		1	
上級ドイツ語Ⅱ	1		1	
初級フランス語Ⅰ	1		1	
初級フランス語Ⅱ	1		1	
中級フランス語Ⅰ	1		1	
中級フランス語Ⅱ	1		1	
上級フランス語Ⅰ	1		1	
上級フランス語Ⅱ	1		1	
初級中国語Ⅰ	1		1	
初級中国語Ⅱ	1		1	
中級中国語Ⅰ	1		1	
中級中国語Ⅱ	1		1	
上級中国語Ⅰ	1		1	
上級中国語Ⅱ	1		1	
中国語実践演習 A	2		2	
中国語実践演習 B	2		2	
初級韓国語Ⅰ	1		1	
初級韓国語Ⅱ	1		1	

中級韓国語 I	1		1	
中級韓国語 II	1		1	
上級韓国語 I	1		1	
上級韓国語 II	1		1	
韓国語実践演習 A	2		2	
韓国語実践演習 B	2		2	
海外語学研修 A	2		2	
海外語学研修 B	2		2	
海外語学研修 C	2		2	
海外語学研修 D	1		1	
海外語学研修 E	1		1	
海外語学研修 F	1		1	
オンライン語学研修 A	2		2	
オンライン語学研修 B	2		2	
オンライン語学研修 C	1		1	
オンライン語学研修 D	1		1	
オンライン語学研修 E	1		1	
オンライン語学研修 F	1		1	
計	64	2	62	

<第11条関係>

別表第2 文学部オープン科目

専修	区分	授業科目	開設単位数	必修単位数	選択単位数
キリスト 教学専修	講義科目	キリスト教学特殊講義 a	2		2
		キリスト教学特殊講義 b	2		2
		キリスト教学特殊講義 c	2		2
		キリスト教学特殊講義 d	2		2
	演習科目	キリスト教学演習 a	2		2
		キリスト教学演習 b	2		2
		キリスト教学演習 c	2		2
		キリスト教学演習 d	2		2
	関連科目 卒業研究	卒業研究演習	4		4
		卒業研究	4		4
計			24		24

<第10条関係>

別表第3 文学部 学科専門科目

(1) 英語文化学科

専修	区分	授業科目	開設単位数	必修単位数	選択単位数
共通	学科基礎科目	Grammar I	0.5	0.5	
		Grammar II	0.5	0.5	
		Grammar III	0.5	0.5	
		Grammar IV	0.5	0.5	
		Writing I	0.5	0.5	
		Writing II	0.5	0.5	
		The Art of Writing I	1	1	
		The Art of Writing II	1	1	
		Oral English I a	1	1	
		Oral English I b	1	1	
		Oral English II a	1	1	
		Oral English II b	1	1	
		Oral English III	1	1	
		Oral English IV	1	1	
		Reading I	1	1	
		Reading II	1	1	
		Reading III	1	1	
		Reading IV	1	1	
		Listening & Pronunciation I	0.5	0.5	
		Listening & Pronunciation II	0.5	0.5	
Vocabulary Building I	0.5	0.5			
Vocabulary Building II	0.5	0.5			
Strategies for Listening I	0.5	0.5			
Strategies for Listening II	0.5	0.5			
文学・文化専修	専門講読科目	文学・文化講読 A-a	1		1
		文学・文化講読 A-b	1		1
		文学・文化講読 B-a	1		1
		文学・文化講読 B-b	1		1
		文学・文化講読 C-a	1		1
		文学・文化講読 C-b	1		1
言語・コミュニケーション シオン専修	専門講読科目	言語・コミュニケーション講読 A-a	1		1
		言語・コミュニケーション講読 A-b	1		1
		言語・コミュニケーション講読 B-a	1		1
		言語・コミュニケーション講読 B-b	1		1
		言語・コミュニケーション講読 C-a	1		1
		言語・コミュニケーション講読 C-b	1		1
文学・文化専修	基礎演習科目	文学・文化基礎演習 A	2		2
		文学・文化基礎演習 B	2		2
		文学・文化基礎演習 C	2		2
		文学・文化基礎演習 D	2		2
		文学・文化基礎演習 E	2		2

言語・コミュニケーション 専修	言語・コミュニケーション基礎演習 A		2		2		
	言語・コミュニケーション基礎演習 B		2		2		
	言語・コミュニケーション基礎演習 C		2		2		
	言語・コミュニケーション基礎演習 D		2		2		
	言語・コミュニケーション基礎演習 E		2		2		
	言語・コミュニケーション基礎演習 F		2		2		
文学・文化専修	英文学史 a		2		2		
	英文学史 b		2		2		
	米文学史 a		2		2		
	米文学史 b		2		2		
	英語圏文学概論 a		2		2		
	英語圏文学概論 b		2		2		
	英語圏文学研究A		2		2		
	英語圏文学研究B		2		2		
	英語圏文学研究C		2		2		
	英語圏文化概論 a		2		2		
	英語圏文化概論 b		2		2		
	英語圏文化研究A		2		2		
	英語圏文化研究B		2		2		
	英語圏文化研究C		2		2		
言語・コミュニケーション 専修	講義科目	英語学概論 a	2		2		
		英語学概論 b	2		2		
		言語学概論 a	2		2		
		言語学概論 b	2		2		
		英語史 a	2		2		
		英語史 b	2		2		
		コミュニケーション概論 a	2		2		
		コミュニケーション概論 b	2		2		
		英語学研究A	2		2		
		英語学研究B	2		2		
		英語学研究C	2		2		
		言語学研究A	2		2		
		言語学研究B	2		2		
		言語学研究C	2		2		
		共通	実践英語科目	国際教養講義 A	2		2
				国際教養講義 B	2		2
国際教養講義 C	2				2		
国際教養講義 D	2				2		
英語文化学科特殊講義a	2				2		
英語文化学科特殊講義b	2				2		
英語文化学科特殊講義c	2				2		
翻訳・通訳	翻訳ワークショップ A-a		1		1		
	翻訳ワークショップ A-b		1		1		
	翻訳ワークショップ B-a		1		1		
	翻訳ワークショップ B-b		1		1		
	通訳ワークショップ A-a		1		1		
	通訳ワークショップ A-b		1		1		

		通訳ワークショップ B-a	1		1
		通訳ワークショップ B-b	1		1
	児童英語	児童英語 a	1		1
		児童英語 b	1		1
		児童英語活動 I	1		1
		児童英語活動 II	1		1
	A C E	Academic Skills & Strategies	1		1
		Global Issues via English Media	1		1
		Writing for Career Success	1		1
		Advanced CLIL	1		1
		Academic Vocabulary Development I	1		1
		Academic Vocabulary Development II	1		1
	イングリッシュ スキーズ	English Discussion & Presentation I	1	1	
		English Discussion & Presentation II	1	1	
		English for Airline Careers	2		2
		English for Tourism and Hospitality	2		2
		English for Global Careers	2		2
文学・文化専修	演習科目	文学・文化演習 A-a	2		2
		文学・文化演習 A-b	2		2
		文学・文化演習 A-c	2		2
		文学・文化演習 A-d	2		2
		文学・文化演習 B-a	2		2
		文学・文化演習 B-b	2		2
		文学・文化演習 B-c	2		2
		文学・文化演習 B-d	2		2
		文学・文化演習 C-a	2		2
		文学・文化演習 C-b	2		2
		文学・文化演習 C-c	2		2
		文学・文化演習 C-d	2		2
		文学・文化演習 D-a	2		2
		文学・文化演習 D-b	2		2
		文学・文化演習 D-c	2		2
		文学・文化演習 D-d	2		2
		文学・文化演習 E-a	2		2
		文学・文化演習 E-b	2		2
		文学・文化演習 E-c	2		2
		文学・文化演習 E-d	2		2
言語・コミュニケーション専修		言語・コミュニケーション演習 A-a	2		2
		言語・コミュニケーション演習 A-b	2		2
		言語・コミュニケーション演習 A-c	2		2
		言語・コミュニケーション演習 A-d	2		2
		言語・コミュニケーション演習 B-a	2		2
		言語・コミュニケーション演習 B-b	2		2
		言語・コミュニケーション演習 B-c	2		2
		言語・コミュニケーション演習 B-d	2		2
		言語・コミュニケーション演習 C-a	2		2
		言語・コミュニケーション演習 C-b	2		2

	言語・コミュニケーション演習 C-c	2		2
	言語・コミュニケーション演習 C-d	2		2
	言語・コミュニケーション演習 D-a	2		2
	言語・コミュニケーション演習 D-b	2		2
	言語・コミュニケーション演習 D-c	2		2
	言語・コミュニケーション演習 D-d	2		2
	言語・コミュニケーション演習 E-a	2		2
	言語・コミュニケーション演習 E-b	2		2
	言語・コミュニケーション演習 E-c	2		2
	言語・コミュニケーション演習 E-d	2		2
	言語・コミュニケーション演習 F-a	2		2
	言語・コミュニケーション演習 F-b	2		2
	言語・コミュニケーション演習 F-c	2		2
	言語・コミュニケーション演習 F-d	2		2
関連科目 卒業研究	Academic Writing I	1		1
	Academic Writing II	1		1
	Advanced Writing a	1		1
	Advanced Writing b	1		1
	卒業研究演習	4	4	
	卒業研究	4	4	
計		248	28	220

< 第10条関係 >

(2) 日本語・日本文学科

専修	区分	授業科目	開設単位数	必修単位数	選択単位数	
共通	基礎講義科目 I	日本語学A	2		2	
		日本語学B	2		2	
		日本語学C	2		2	
		日本古典文学A	2		2	
		日本古典文学B	2		2	
		日本古典文学C	2		2	
		日本近現代文学A	2		2	
		日本近現代文学B	2		2	
		日本近現代文学C	2		2	
		日本文化A	2		2	
		日本文化B	2		2	
		日本文化C	2		2	
		日本文化D	2		2	
		日本文化E	2		2	
		漢文学	2		2	
		基礎講義科目 II	日本語表現法 A-a	2		2
			日本語表現法 A-b	2		2
	日本語表現法 B-a		2		2	
	日本語表現法 B-b		2		2	
	日本語学概論 a		2		2	
	日本語学概論 b		2		2	
	日本文学概論 a		2		2	
	日本文学概論 b		2		2	
	古文読解		2		2	
	漢文読解		2		2	
	習基礎演 科目	日本語・日本文学科基礎演習	2	2		
	日本語・日本文学専修	講義科目	日本語学研究 A-a	2		2
			日本語学研究 A-b	2		2
			日本語学研究 B-a	2		2
			日本語学研究 B-b	2		2
日本語学研究 C-a			2		2	
日本語学研究 C-b			2		2	
日本語学研究 D-a			2		2	
日本語学研究 D-b			2		2	
日本語学研究 E-a			2		2	
日本語学研究 E-b			2		2	
日本古典文学研究A-a			2		2	
日本古典文学研究A-b			2		2	
日本古典文学研究B-a			2		2	
日本古典文学研究B-b			2		2	
日本古典文学研究C-a			2		2	
日本古典文学研究C-b			2		2	
日本近現代文学研究A-a			2		2	

		日本近現代文学研究A-b	2		2
		日本近現代文学研究B-a	2		2
		日本近現代文学研究B-b	2		2
		日本近現代文学研究C-a	2		2
		日本近現代文学研究C-b	2		2
日本文化専修		日本思想史A	2		2
		日本思想史B	2		2
		日本文化論 A-a	2		2
		日本文化論 A-b	2		2
		日本文化論 B-a	2		2
		日本文化論 B-b	2		2
		日本文化論 C-a	2		2
		日本文化論 C-b	2		2
		日本文化論 D-a	2		2
		日本文化論 D-b	2		2
		日本文化論 E-a	2		2
		日本文化論 E-b	2		2
		日本文化論 F-a	2		2
		日本文化論 F-b	2		2
		日本文化とアジア A-a	2		2
		日本文化とアジア A-b	2		2
		日本文化とアジア B-a	2		2
		日本文化とアジア B-b	2		2
		日本文化とアジア C-a	2		2
		日本文化とアジア C-b	2		2
日本文化とアジア D-a	2		2		
日本文化とアジア D-b	2		2		
日本文化と女性	2		2		
共通		文献資料論	2		2
		日本語・日本文学科特殊講義 a	2		2
		日本語・日本文学科特殊講義 b	2		2
		日本語・日本文学科特殊講義 c	2		2
日本文化専修	書道科目	書道Ⅰ	2		2
		書道Ⅱ	2		2
		書道Ⅲ	2		2
		書道Ⅳ	2		2
		実用書道	1		1
		書道史 a	2		2
		書道史 b	2		2
		書論・鑑賞 a	2		2
		書論・鑑賞 b	2		2
		日本語・日本文学専修	演習科目	日本語学演習ⅠA	4
日本語学演習ⅠB	4				4
日本古典文学演習ⅠA	4				4
日本古典文学演習ⅠB	4				4
日本古典文学演習ⅠC	4				4
日本近現代文学演習ⅠA	4				4

		日本近現代文学演習 I B	4		4
化 日 専 本 修 文		日本文化論演習 I A	4		4
		日本文化論演習 I B	4		4
		日本文化論演習 I C	4		4
日 本 語・日 本 文 学 専 修		日本語学演習 II A-a	4		4
		日本語学演習 II A-b	4		4
		日本語学演習 II B-a	4		4
		日本語学演習 II B-b	4		4
		日本古典文学演習 II A-a	4		4
		日本古典文学演習 II A-b	4		4
		日本古典文学演習 II B-a	4		4
		日本古典文学演習 II B-b	4		4
		日本古典文学演習 II C-a	4		4
		日本古典文学演習 II C-b	4		4
		日本近現代文学演習 II A-a	4		4
		日本近現代文学演習 II A-b	4		4
		日本近現代文学演習 II B-a	4		4
		日本近現代文学演習 II B-b	4		4
日 本 文 化 専 修		日本文化論演習 II A-a	4		4
		日本文化論演習 II A-b	4		4
		日本文化論演習 II B-a	4		4
		日本文化論演習 II B-b	4		4
		日本文化論演習 II C-a	4		4
		日本文化論演習 II C-b	4		4
共 通	関 卒 連 業 科 研 目 究	卒業研究ゼミ I	4		4
		卒業研究ゼミ II	4	4	
		卒業研究	4	4	
計			299	10	289

<第10条関係>

(3) 文化総合学科

専修	区分	授 業 科 目	開設単位数	必修単位数	選択単位数
現代社会専修	文化総合学科基礎演習	「現代社会」基礎演習 A	2		2
		「現代社会」基礎演習 B	2		2
		「現代社会」基礎演習 C	2		2
		「現代社会」基礎演習 D	2		2
		「現代社会」基礎演習 E	2		2
歴史・思想専修		「歴史・思想」基礎演習 A	2		2
		「歴史・思想」基礎演習 B	2		2
		「歴史・思想」基礎演習 C	2		2
		「歴史・思想」基礎演習 D	2		2
		「歴史・思想」基礎演習 E	2		2
現代社会専修	講義科目	文化人類学入門a	2		2
		文化人類学入門b	2		2
		異文化コミュニケーション論	2		2
		異文化コミュニケーション論入門	2		2
		国際関係論	2		2
		政治学(国際政治学)入門	2		2
		国際関係論入門	2		2
		日本国憲法	2		2
		基礎法学 A(憲法)	2		2
		基礎法学 B-a(民法)	2		2
		基礎法学 B-b(民法)	2		2
		基礎法学 C-a(国際関係法)	2		2
		基礎法学 C-b(国際関係法)	2		2
		経済学入門(国際経済学を含む)	2		2
		社会学入門	2		2
		心理学	2		2
		心理学入門	2		2
		イギリス文化論	2		2
		アメリカ文化論	2		2
		フランス文化論	2		2
		ドイツ文化論	2		2
		中国文化論 a	2		2
		中国文化論 b	2		2
		韓国文化論 a	2		2
		韓国文化論 b	2		2
		異文化コミュニケーション論特講 a	2		2
		異文化コミュニケーション論特講 b	2		2
		異文化コミュニケーション論特講 c	2		2
		異文化コミュニケーション論特講 d	2		2
		国際事情 a	2		2
		国際事情 b	2		2
		国際関係論特講 A-a	2		2
国際関係論特講 A-b	2		2		
国際関係論特講 A-c	2		2		

	国際関係論特講 A-d	2	2
	国際関係論特講 B-a	2	2
	国際関係論特講 B-b	2	2
	法学特講 A-a(コミュニケーションと法)	2	2
	法学特講 A-b(コミュニケーションと法)	2	2
	法学特講 B-a(比較政治制度)	2	2
	法学特講 B-b(比較政治制度)	2	2
	法学特講 C-a(法女性学)	2	2
	法学特講 C-b(法女性学)	2	2
	女性論 a	2	2
	女性論 b	2	2
	音楽社会学 a	2	2
	音楽社会学 b	2	2
	心理学特講 A-a	2	2
	心理学特講 A-b	2	2
	心理学特講 A-c	2	2
	心理学特講 A-d	2	2
	心理学特講 B-a	2	2
	心理学特講 B-b	2	2
	心理学文献講読 a	2	2
	心理学文献講読 b	2	2
歴史・思想専修	西洋史	2	2
	西洋史入門	2	2
	日本史A	2	2
	日本史入門 A(概論)	2	2
	日本史B	2	2
	日本史入門 B(概論)	2	2
	東洋史入門 a	2	2
	東洋史入門 b	2	2
	地理学基礎論(自然地理学を含む)	2	2
	人文地理学	2	2
	地誌学	2	2
	哲学	2	2
	哲学入門	2	2
	倫理学	2	2
	倫理学入門	2	2
	ラテン語 I-a	2	2
	ラテン語 I-b	2	2
	西洋史特講 A-a	2	2
	西洋史特講 A-b	2	2
	西洋史特講 A-c	2	2
	西洋史特講 B-a	2	2
	西洋史特講 B-b	2	2
	西洋史特講 C-a	2	2
	西洋史特講 C-b	2	2
	西洋史特講 D-a	2	2

西洋史特講 D-b	2	2
西洋史文献講読 a	2	2
西洋史文献講読 b	2	2
西洋史文献講読 c	2	2
西洋史文献講読 d	2	2
イギリス文化史	2	2
アメリカ文化史	2	2
フランス文化史	2	2
ドイツ文化史	2	2
キリスト教文化論 a	2	2
キリスト教文化論 b	2	2
イスラーム文化論a	2	2
イスラーム文化論b	2	2
考古学	2	2
日本史特講 A-a(学説史)	2	2
日本史特講 A-b	2	2
日本史特講 A-c	2	2
日本史特講 B-a(学説史)	2	2
日本史特講 B-b	2	2
日本史特講 B-c	2	2
日本史特講 C-a	2	2
日本史特講 C-b	2	2
日本史特講 D	2	2
歴史資料論 A	2	2
歴史資料論 B	2	2
歴史資料論 C	2	2
歴史資料論 D	2	2
古代・中世哲学史	2	2
近世・近代哲学史	2	2
哲学特講 A-a	2	2
哲学特講 A-b	2	2
哲学特講 A-c	2	2
哲学特講 A-d	2	2
哲学特講 B-a	2	2
哲学特講 B-b	2	2
哲学特講 B-c	2	2
哲学特講 B-d	2	2
倫理学特講 A-a	2	2
倫理学特講 A-b	2	2
倫理学特講 A-c	2	2
倫理学特講 A-d	2	2
倫理学特講 B-a	2	2
倫理学特講 B-b	2	2
倫理学特講 B-c	2	2
倫理学特講 B-d	2	2
ラテン語Ⅱ-a	2	2

		ラテン語Ⅱ-b	2		2
		古典ギリシア語 a	2		2
		古典ギリシア語 b	2		2
		身体表現論	2		2
		造形美術論	2		2
		映像表現論	2		2
共通		文化総合学科特殊講義 a	2		2
		文化総合学科特殊講義 b	2		2
		文化総合学科特殊講義 c	2		2
現代社会専修		異文化コミュニケーション論演習 a	2		2
		異文化コミュニケーション論演習 b	2		2
		異文化コミュニケーション論演習 c	2		2
		異文化コミュニケーション論演習 d	2		2
		国際関係論演習 a	2		2
		国際関係論演習 b	2		2
		国際関係論演習 c	2		2
		国際関係論演習 d	2		2
		法学演習 a	2		2
		法学演習 b	2		2
		法学演習 c	2		2
		法学演習 d	2		2
		心理学演習 a	2		2
		心理学演習 b	2		2
		心理学演習 c	2		2
		心理学演習 d	2		2
歴史・思想専修	演習	西洋史演習 a	2		2
		西洋史演習 b	2		2
		西洋史演習 c	2		2
		西洋史演習 d	2		2
		日本史演習 A-a	2		2
		日本史演習 A-b	2		2
		日本史演習 A-c	2		2
		日本史演習 A-d	2		2
		日本史演習 B-a	2		2
		日本史演習 B-b	2		2
		日本史演習 B-c	2		2
		日本史演習 B-d	2		2
		哲学演習 a	2		2
		哲学演習 b	2		2
		哲学演習 c	2		2
		哲学演習 d	2		2
		倫理学演習 a	2		2
		倫理学演習 b	2		2
		倫理学演習 c	2		2
		倫理学演習 d	2		2

科目 卒業研究関連	卒業研究演習	4	4	
	卒業研究	4	4	
計		370	8	362

<第10条関係>

別表第4-1 ウェルビーイング学部 学科専門科目

(1) 地域創生学科

区分		授業科目	開設単位数	必修単位数	選択単位数
総合	地域創生の基礎	ウェルビーイングの基盤	2	2	
		生活経営論	2		2
		生活環境基礎	2		2
		社会福祉論	2		2
		プロジェクトマネジメント入門	2	2	
		対人コミュニケーションの技法	2		2
		プロジェクトマネジメント基礎演習	2		2
		ワークライフキャリアデザイン	2		2
		女性リーダーシップ論	2		2
	専門研究	専門演習	2	2	
	卒業研究演習	4	4		
	卒業研究	4	4		
ライフサイエンス	衣生活科学	現代衣生活論	2	2	
		服飾文化史	2		2
		衣造形実習	2		2
		テキスタイル工芸実習	2		2
		被服学実験	2		2
	食生活科学	現代食生活論	2	2	
		食物の科学	2		2
		食生活と文化	2		2
		食生活と栄養	2		2
		調理学実習	2		2
	住生活科学	現代住生活論	2	2	
		住居計画	2		2
		住生活文化論	2		2
		北国の暮らしと居住環境	2		2
		住居デザイン演習Ⅰ	2		2
		住居デザイン演習Ⅱ	2		2
	家庭経営・家族学	家族関係論	2	2	
		現代の生活経済	2		2
		消費者教育論	2		2
		家族と法律	2		2
	子ども・生涯発達科学	男女共同参画社会と女性	2		2
子どもの発達と保育		2		2	
子ども家庭福祉		2		2	
子どもと社会		2		2	
心と体の日常生活支援		1		1	
高齢期とライフステージ		1		1	
社会福祉学	発達と心理	2		2	
	ソーシャルワーク論	2	2		
	ソーシャルワーク演習	2		2	
	福祉政策論	2		2	
	高齢者福祉論	2		2	

		暮らしと社会保障	2		2	
		地域生活と福祉	2		2	
		ユニバーサルデザイン	2		2	
プロジェクトマネジメント	ワークショップデザイン	ワークショップ入門	2	2	2	
		ワークショップデザイン	2		2	
		論理的思考とデザイン思考	2		2	
		プレゼンテーションの技法	2		2	
		映像表現の技法	2		2	
		ファシリテーショングラフィック入門	2		2	
			インストラクショナルデザイン入門	2		2
	ソーシャルラーニング	地域社会調査法	2		2	
		インタビューの技法	2		2	
		統計調査と地域創生	2		2	
北海道の地域と文化		2		2		
マーケティングリサーチ		2		2		
組織マネジメント論		2		2		
地域資源活用法		2		2		
スタートアップ基礎演習		2		2		
		メディア総論	2	2		
プロジェクト	ソーシャル	プロジェクトマネジメントⅠ	4		4	
		プロジェクトマネジメントⅡ	4		4	
		プロジェクトマネジメントⅢ	2		2	
データサイエンス	基礎	データサイエンス入門	2	2		
		AI 入門	2	2		
		ICT 入門 A	2		2	
		ICT 入門 B	2		2	
		生活とデータ	2		2	
	応用	モバイルアプリケーション演習	2		2	
		ICT・データサイエンスの活用演習	2		2	
		データサイエンス応用プロジェクト	2		2	
計			154	32	122	

<第11条関係>

(2) 食環境マネジメント学科

区分	授業科目	開設単位数	必修単位数	選択単位数
健康と 環境と 社会・	公衆衛生学A	2	2	
	公衆衛生学B	2	2	
	高齢者健康論	2		2
人体の構造と機能及び 疾病の成り立ち	生化学	2	2	
	解剖生理学A	2	2	
	解剖生理学B	2	2	
	解剖生理学実験	2	2	
	疾病医療学A	2	2	
	疾病医療学B	2	2	
	疾病医療学C	2	2	
	分子栄養学	2		2
	栄養生理学・生化学実験	1	1	
食べ物と健康	食品化学	2	2	
	食品加工学	2	2	
	食品実験Ⅰ	2	2	
	食品実験Ⅱ	1	1	
	調理科学	2	2	
	調理実習Ⅰ	2	2	
	調理実習Ⅱ	2	2	
	食品衛生学	2	2	
	栄養学 基礎	基礎栄養学	2	2
栄養学実験		1		1
栄養学 応用	食事摂取基準論	2	2	
	ライフステージ応用栄養学	2	2	
	環境・スポーツ栄養学	2	2	
	応用栄養学実習	2	2	
栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	2	2	
	栄養教育論Ⅱ	2	2	
	栄養教育論演習Ⅰ	1	1	
	栄養教育論演習Ⅱ	1	1	
	栄養教育論実習	1	1	
臨床栄養学	臨床栄養学A	2	2	
	臨床栄養学B	2	2	
	臨床栄養学C	2	2	
	臨床栄養管理論	2		2
	臨床栄養学実習Ⅰ	2	2	
	臨床栄養学実習Ⅱ	2		2
	実践臨床栄養学	2		2
栄養学 公衆	公衆栄養学A	2	2	
	公衆栄養学B	2	2	
	地域栄養学実習	1		1
管理論 経営 給食	給食経営管理論Ⅰ	2	2	
	給食経営管理論Ⅱ	2	2	
	給食経営管理実習Ⅰ	2	2	

演習 総合	総合演習A	1	1	
	総合演習B	1		1
	対人関係トレーニング	1	1	
	管理栄養士演習Ⅰ	2		2
	管理栄養士演習Ⅱ	2		2
実習 臨地	臨床栄養学実習Ⅲ	2	2	
	公衆栄養学実習	1	1	
	給食経営管理実習Ⅱ	1	1	
	管理栄養士実務実習	2		2
総合	食環境とウェルビーイング	2	2	
	栄養士のための化学	2		2
	ストレスマネジメント論	2		2
	科学英語	1		1
	学校栄養教育Ⅰ	2		2
	学校栄養教育Ⅱ	2		2
	社会調査演習	1		1
	社会調査実習	2		2
	栄養統計学	2		2
	食品開発論	2		2
	食品開発マネジメント実習	2		2
	卒業演習Ⅰ	0.5	0.5	
	卒業演習Ⅱ	1.5	1.5	
	卒業研究	6		6
	計	122	79	43

< 第11条関係 >

(3) 子ども教育学科

区分	授業科目	開設 単位数	必修 単位数	選択単 位数	備 考
保育・教育の理論	教育原理	2	2		
	保育原理	2		2	
	教師・保育者論	2		2	
	教育方法論（情報通信技術の活用含む）	2		2	
	教育制度論	2		2	
	教育課程総論（全体的な計画を含む）	2		2	
	保幼小連携特論	2		2	
	学級経営論	2		2	
	道德教育の理論と実践	2		2	
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2		2	
	地域社会と学校	2		2	
	現代社会と教育	2		2	
	子どもの理解	教育心理学	2		2
学校教育心理学		2		2	
発達心理学		2	2		
児童期以降の発達と心理		2		2	
子どもの理解と発達援助		2		2	
幼児理解と援助		2		2	
特別な教育的ニーズに対する理解と支援		2		2	
特別支援教育総論		2	2		
特別支援教育実践論		2		2	
知的障害児の心理・生理・病理		2		2	
肢体不自由児の心理・生理・病理		2		2	
病弱児の心理・生理・病理		2		2	
知的障害児教育		2		2	
肢体不自由児教育		2		2	
病弱児教育		2		2	
知的障害児教育総論		2		2	
肢体不自由児教育総論		2		2	
視覚・聴覚障害児の心理・生理・病理		1		1	
重複・発達障害児の心理・生理・病理	2		2		
視覚・聴覚障害児教育総論	1		1		
重複・発達障害児教育総論	2		2		
子ども教育専修	総合表現	2		2	
	国語（書写含む）	2		2	
	社会	2		2	
	算数	2		2	
	理科	2		2	
	生活	2		2	
	音楽	2		2	
	音楽表現法	2		2	
	図画工作	2		2	
	造形表現法	2		2	
	家庭	2		2	

		初等体育	2		2	
		スポーツ実技 A (水泳)	1		1	
		スポーツ実技 B (スキー)	1		1	
		英語	2		2	
		保育内容 (健康)	1		1	
		保育内容 (人間関係)	1		1	
		保育内容 (環境)	1		1	
		保育内容 (言葉)	1		1	
		保育内容 (表現)	1		1	
	保育内容・教科の指導法	国語科教育法	2		2	
		社会科教育法	2		2	
		算数科教育法	2		2	
		理科教育法	2		2	
		生活科教育法	2		2	
		音楽科教育法	2		2	
		図画工作科教育法	2		2	
		家庭科教育法	2		2	
		体育科教育法	2		2	
		英語科教育法	2		2	
		保育内容総論	1		1	
		保育内容の指導法 (健康)	2		2	
		保育内容の指導法 (人間関係)	2		2	
		保育内容の指導法 (環境)	2		2	
		保育内容の指導法 (言葉)	2		2	
	保育内容の指導法 (表現)	2		2		
子ども生活支援専修	保育・教育の理論	社会福祉論	2		2	
		子ども家庭福祉論	2	2		
		社会的養護	2		2	
		特別支援教育と福祉	2		2	
		教育相談の理論と方法	2		2	
	子どもの理解	家庭支援論	2		2	
		子どもの保健	2		2	
		子どもの健康と安全	2		2	
		子どもの食と栄養	2		2	
	保育・教育の内容	子ども文化論	2		2	
		乳児保育Ⅰ	2		2	
		乳児保育Ⅱ	1		1	
		社会的養護内容	2		2	
		子どもの遊びと学び	2		2	
	家族の支援	子どもと	子ども家庭支援の心理学	2		2
		子育て支援 (演習)	2		2	
		子育て支援 (講義)	2		2	
		生徒指導・進路指導	2		2	
共通	実習	保育実習指導Ⅰ (保育所)	1		1	
		保育実習Ⅰ (保育所)	2		2	
		保育実習指導Ⅰ (福祉施設)	1		1	
		保育実習Ⅰ (福祉施設)	2		2	

	保育実習指導Ⅱ（保育所）	1		1	
	保育実習Ⅱ（保育所）	2		2	
	保育実習指導Ⅱ（福祉施設）	1		1	
	保育実習Ⅱ（福祉施設）	2		2	
	教育実習指導（特別支援学校）	1		1	
	教育実習（特別支援学校）	2		2	
	教育実習指導（幼稚園・小学校）	1		1	
	教育実習（幼稚園・小学校）	4		4	
専門 研究 法	子どもとウェルビーイング	1	1		
	研究調査法	2		2	
	臨床発達検査法	2		2	
	保育・教職実践演習（幼稚園・小学校）	2		2	
	専門演習	2	2		
	卒業研究演習	2		2	
	卒業研究	2		2	
計		196	11	185	

〈第 11 条関係〉

別表第4-2 人間生活学部 学科専門科目

(1)人間生活学科

専修	区分	授業科目	開設単位数	必修単位数	選択単位数
共通	総合	共生社会への招待	2	2	
		ボランティアと学び	2		2
		課題発見フィールドワーク	2		2
		人間生活学研究演習	4	4	
		卒業研究演習	4	4	
		卒業研究	4	4	
	現代家政	衣食住生活のルーツ	2	2	
		生活環境基礎	2		2
		現代の生活経営	2		2
		ライフマネジメント	2		2
	社会福祉	社会福祉論	2	2	
		ソーシャルワーク入門演習	2		2
		子ども家庭福祉論Ⅰ	2		2
		高齢者福祉論Ⅰ	2		2
		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	2		2
		社会保障サービス	2		2
プロジェクト マネジメント	プロジェクトマネジメント入門	2	2		
	対人コミュニケーションの技法	2		2	
	プロジェクトマネジメント基礎演習	2		2	
	女性リーダーシップ論	2		2	
	チームビルディング演習	2		2	
現代家政専修	衣生活	現代衣生活論	2		2
		服飾美学	1		1
		色彩の錯視と衣服	1		1
		衣造形実習	2		2
		テキスタイル工芸実習	2		2
		被服学実験	2		2
	食生活	現代食生活論	2		2
		食品の成分と機能	1		1
		食べ物の材料学	1		1
		食生活と栄養	2		2
		調理学実習	2		2
		食物学実験	2		2
	住生活	現代住生活論	2		2
		住居計画	2		2
		まちづくり論	2		2
		住居デザイン演習Ⅰ	2		2
		住居デザイン演習Ⅱ	2		2
	生活経営・家族	現代の生活経済	2		2
		家族と社会	2		2
		消費者問題	2		2
男女共同参画社会と女性		2		2	
家族と法律		2		2	
子育ての比較文化		2		2	

現代家政専修	生涯発達	子どもの発達と保育	2		2	
		発達と心理	2		2	
		日常生活活動	1		1	
		加齢と障害	1		1	
		生活技術	2		2	
	総合	北国のライフコーディネート	2		2	
		ユニバーサルデザイン	2		2	
社会福祉専修	利用者、制度・サービスの理解	介護福祉論	1		1	
		医学概論	2		2	
		子ども家庭福祉論Ⅱ	2		2	
		障害者福祉論	2		2	
		高齢者福祉論Ⅱ	2		2	
		権利擁護を支える法制度	2		2	
		公的扶助論	2		2	
		精神保健福祉論	2		2	
		保健医療と福祉	2		2	
		刑事司法と福祉	2		2	
	サービスの理解	制度・サービスの理解	社会保障論	2		2
			社会福祉運営管理論	2		2
	社会のしくみの理解	制度・サービス、地域・	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2		2
			社会福祉の原理と政策Ⅱ	2		2
			地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2		2
			地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2		2
	社会福祉士の役割・機能の理解		社会福祉調査	2		2
			ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2		2
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2		2
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2		2
ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ			2		2	
ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ			2		2	
ソーシャルワーク演習Ⅰ			2		2	
ソーシャルワーク演習Ⅱ			2		2	
ソーシャルワーク演習Ⅲ			4		4	
ソーシャルワーク演習Ⅳ			2		2	
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ			1		1	
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ			1		1	
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ			1		1	
ソーシャルワーク実習Ⅰ			2		2	
ソーシャルワーク実習指導Ⅳ			1		1	
ソーシャルワーク実習指導Ⅴ			1		1	
ソーシャルワーク実習Ⅱ			3		3	
ソーシャルワーク専門実習指導			1		1	
ソーシャルワーク専門実習			2		2	
スクールソーシャルワーク論			2		2	
スクールソーシャルワーク演習	1		1			
スクールソーシャルワーク実習指導	1		1			
スクールソーシャルワーク実習	2		2			
チームアプローチ演習	2		2			
ソーシャルワーク専門演習	2		2			

プロジェクトマネジメント専修	学びの技法	論理的思考の技法	1		1
		デザイン思考の技法	1		1
		プレゼンテーションの技法	1		1
		議論の技法	1		1
		写真の表現技法	2		2
		動画の表現技法	2		2
		インタビュー調査の技法	2		2
		ソーシャルメディア活用の技法	2		2
		アンケート調査の技法	2		2
	ワークショップデザイン	ワークショップ入門	2		2
		ワークショップデザイン	2		2
		ワークショップデザイン基礎演習	2		2
		協同学習入門	2		2
		レクリエーション入門	1		1
アイスブレイク入門		1		1	
ファシリテーション演習		2		2	
インストラクショナルデザイン入門		2		2	
ファシリテーショングラフィック入門		1		1	
ソーシャルラーニング	地域資源活用法	2		2	
	人間関係と心理	2		2	
	統計調査と北海道	2		2	
	統計調査と心理	2		2	
	マーケティングリサーチ	2		2	
	北海道の文化と女性	2		2	
	国際社会と女性	2		2	
	社会的起業と女性	2		2	
	広報・メディアと女性	2		2	
組織マネジメント論	2		2		
プロジェクト	ソーシャル	プロジェクトマネジメントⅠ	2		2
		プロジェクトマネジメントⅡ	2		2
		プロジェクトマネジメントⅢ	2		2
計			233	20	213

< 第11条関係 >

(2) 食物栄養学科

専修	区分	授業科目	開設単位数	必修単位数	選択単位数
管理栄養士専修	社会・環境と健康	食生活論	2	2	
		公衆衛生学 A	2	2	
		公衆衛生学 B	2	2	
		高齢者健康論	2		2
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生化学 A	2	2	
		生化学 B	2	2	
		解剖生理学 A	2	2	
		解剖生理学 B	2	2	
		解剖生理学実験	2	2	
		疾病医療学 A	2	2	
疾病医療学 B		2	2		
疾病医療学 C		2	2		
分子栄養学		2		2	
栄養生理学・生化学実験		1	1		
食べ物と健康	食品化学 A	1	1		
	食品化学 B	2	2		
	食品化学 C	1		1	
	食品加工学 I	1	1		
	食品加工学 II	1		1	
	食品実験 I	2	2		
	食品実験 II	1	1		
	食品機能学 I	1		1	
	食品機能学 II	1		1	
	調理科学	2	2		
	調理実習 I	2	2		
	調理実習 II	2	2		
	微生物学	2	2		
	食品衛生学	2	2		
	食品開発論	2		2	
栄養学基礎	基礎栄養学	2	2		
	栄養学実験	1		1	
応用栄養学	食事摂取基準論	2	2		
	ライフステージ応用栄養学	2	2		
	環境・スポーツ栄養学	2	2		
	応用栄養学実習	2	2		
栄養教育論	栄養教育論 I	2	2		
	栄養教育論 II	2	2		
	栄養教育論演習 I	1	1		
	栄養教育論演習 II	1	1		
	栄養教育論実習	1	1		
臨床栄養学	臨床栄養学 A	2	2		
	臨床栄養学 B	2	2		
	臨床栄養学 C	2	2		
	臨床栄養管理論	2		2	

	臨床栄養学実習Ⅰ	2	2	
	臨床栄養学実習Ⅱ	2		2
	実践臨床栄養学	2		2
栄養学 公衆	公衆栄養学A	2	2	
	公衆栄養学B	2	2	
	地域栄養学実習	1		1
管理論 給食経営	給食経営管理論Ⅰ	2	2	
	給食経営管理論Ⅱ	2	2	
	給食経営管理実習Ⅰ	2	2	
習 総合演	総合演習A	1	1	
	総合演習B	1		1
	対人関係トレーニング	1	1	
臨地 実習	臨床栄養学実習Ⅲ	2	2	
	公衆栄養学実習	1	1	
	給食経営管理実習Ⅱ	1	1	
	管理栄養士実務実習	2		2
その他	栄養士のための化学A	2		2
	栄養士のための化学B	2		2
	栄養統計学	2		2
	社会調査演習	1		1
	社会調査実習	2		2
	科学英語	1		1
	学校栄養教育Ⅰ	2		2
	学校栄養教育Ⅱ	2		2
	食デザイン論	2		2
	管理栄養士演習Ⅰ	2		2
	管理栄養士演習Ⅱ	2		2
	卒業演習Ⅰ	0.5	0.5	
	卒業演習Ⅱ	1.5	1.5	
	卒業研究	6		6
計		130	83	47

< 第11条関係 >

(3)子ども教育学科

専修	区分	授業科目	開設 単位数	必修 単位数	選択単 位数	備 考
子ども教育専修	保育・教育の理論	教育原理	2	2		
		保育原理	2		2	
		教師・保育者論	2		2	
		教育方法論（情報通信技術の活用含む）	2		2	
		教育制度論	2		2	
		教育課程総論（全体的な計画を含む）	2		2	
		保幼小連携特論	2		2	
		学級経営論	2		2	
		道徳教育の理論と実践	2		2	
		特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2		2	
		地域社会と学校	2		2	
		現代社会と教育	2		2	
		子どもの理解	教育心理学	2		2
	学校教育心理学		2		2	
	発達心理学		2	2		
	児童期以降の発達と心理		2		2	
	子どもの理解と発達援助		2		2	
	幼児理解と援助		2		2	
	特別な教育的ニーズに対する理解と支援		2		2	
	特別支援教育総論		2	2		
	特別支援教育実践論		2		2	
	知的障害児の心理・生理・病理		2		2	
	肢体不自由児の心理・生理・病理		2		2	
	病弱児の心理・生理・病理		2		2	
	知的障害児教育		2		2	
	肢体不自由児教育		2		2	
	病弱児教育		2		2	
	知的障害児教育総論		2		2	
	肢体不自由児教育総論		2		2	
	視覚・聴覚障害児の心理・生理・病理	1		1		
	重複・発達障害児の心理・生理・病理	2		2		
	視覚・聴覚障害児教育総論	1		1		
	重複・発達障害児教育総論	2		2		
保育・教育の内容	総合表現	2		2		
	国語（書写含む）	2		2		
	社会	2		2		
	算数	2		2		
	理科	2		2		
	生活	2		2		
	音楽	2		2		
	音楽表現法	2		2		
	図画工作	2		2		
	造形表現法	2		2		

		家庭	2		2	
		初等体育	2		2	
		スポーツ実技 A (水泳)	1		1	
		スポーツ実技 B (スキー)	1		1	
		英語	2		2	
		保育内容 (健康)	1		1	
		保育内容 (人間関係)	1		1	
		保育内容 (環境)	1		1	
		保育内容 (言葉)	1		1	
		保育内容 (表現)	1		1	
	保育内容・教科の指導法	国語科教育法	2		2	
		社会科教育法	2		2	
		算数科教育法	2		2	
		理科教育法	2		2	
		生活科教育法	2		2	
		音楽科教育法	2		2	
		図画工作科教育法	2		2	
		家庭科教育法	2		2	
		体育科教育法	2		2	
		英語科教育法	2		2	
		保育内容総論	1		1	
		保育内容の指導法 (健康)	2		2	
		保育内容の指導法 (人間関係)	2		2	
		保育内容の指導法 (環境)	2		2	
		保育内容の指導法 (言葉)	2		2	
		保育内容の指導法 (表現)	2		2	
子ども生活支援専修	保育・教育の理論	社会福祉論	2		2	
		子ども家庭福祉論	2	2		
		社会的養護	2		2	
		児童館・放課後児童クラブの機能と運営	2		2	
		特別支援教育と福祉	2		2	
		教育相談の理論と方法	2		2	
	子どもの理解	家庭支援論	2		2	
		子どもの保健	2		2	
		子どもの健康と安全	2		2	
		子どもの食と栄養	2		2	
	保育・教育の内容	子ども文化論	2		2	
		乳児保育 I	2		2	
		乳児保育 II	1		1	
		社会的養護内容	2		2	
		子どもの遊びと学び	2		2	
	子どもと家族の支援	児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法 I	2		2	
		児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法 II	2		2	
		子ども家庭支援の心理学	2		2	
		子育て支援 (演習)	2		2	
		子育て支援 (講義)	2		2	
生徒指導・進路指導		2		2		

共通	実習	児童館実習指導	1		1	
		児童館実習	2		2	
		保育実習指導Ⅰ（保育所）	1		1	
		保育実習Ⅰ（保育所）	2		2	
		保育実習指導Ⅰ（福祉施設）	1		1	
		保育実習Ⅰ（福祉施設）	2		2	
		保育実習指導Ⅱ（保育所）	1		1	
		保育実習Ⅱ（保育所）	2		2	
		保育実習指導Ⅱ（福祉施設）	1		1	
		保育実習Ⅱ（福祉施設）	2		2	
		保育実習指導Ⅱ（児童館）	1		1	
		保育実習Ⅱ（児童館）	2		2	
		教育実習指導（特別支援学校）	1		1	
		教育実習（特別支援学校）	2		2	
		教育実習指導（幼稚園・小学校）	1		1	
		教育実習（幼稚園・小学校）	4		4	
	専門 研究法	スタートアップセミナー	2	2		
		研究調査法	2		2	
		臨床発達検査法	2		2	
		保育・教職実践演習（幼稚園・小学校）	2		2	
専門演習		2	2			
卒業研究演習		2		2		
卒業研究		2		2		
計		209	12	197		

〈第 11 条関係〉

別表第5 教員免許に関する科目（「指導法に関する科目等」）

(1) 文学部

授業科目	開設単位数	必修単位数	選択単位数	備考
英語科教育法Ⅰ	2		2	
英語科教育法Ⅱ	2		2	
英語科教育法Ⅲ	2		2	
英語科教育法Ⅳ	2		2	
国語科教育法Ⅰ	4		4	
国語科教育法Ⅱ	2		2	
国語科教育法Ⅲ	2		2	
書道科教育法Ⅰ	2		2	
書道科教育法Ⅱ	2		2	
社会科系教育法Ⅰ（地歴）	2		2	
社会科系教育法Ⅱ（公民）	2		2	
地歴科教育法	2		2	
公民科教育法	2		2	
教育原理	2		2	
教師論	2		2	
教育制度論	2		2	
教育心理学	2		2	
特別支援教育論	2		2	
教育課程論	2		2	
道德教育	2		2	
特別活動の指導法・総合的な 学習の時間の指導法	2		2	
教育方法論（教育現場での ICT 活用を含む）	2		2	
生徒指導・進路指導	2		2	
教育相談	2		2	
教育実習ⅠA	1		1	
教育実習ⅠB	1		1	
教育実習Ⅱ	2		2	
教育実習Ⅲ	2		2	
教職実践演習（中・高）	2		2	
教職課外活動Ⅰ	1		1	
教職課外活動Ⅱ	1		1	
教職課外活動Ⅲ	1		1	
介護等体験	1		1	
学校経営と学校図書館	2		2	図書館情報学課程科目
読書と豊かな人間性	2		2	図書館情報学課程科目
情報メディアの活用	2		2	図書館情報学課程科目
学校図書館メディアの構成	2		2	図書館情報学課程科目
学習指導と学校図書館	2		2	図書館情報学課程科目
計	72		72	

< 第10条関係 >

(2)ウェルビーイング学部

授業科目	開設単位数	必修単位数	選択単位数	備考
中等家庭科教育法Ⅰ	2		2	
中等家庭科教育法Ⅱ	2		2	
中等家庭科教育法Ⅲ	2		2	
中等家庭科教育法Ⅳ	2		2	
教育原理	2		2	
教師論	2		2	
教育制度論	2		2	
教育心理学	2		2	
特別支援教育論	2		2	
教育課程論	2		2	
道德教育	2		2	
特別活動の指導法・総合的 な学習の時間の指導法	2		2	
教育方法論(教育現場での ICT活用を含む)	2		2	
生徒指導・進路指導	2		2	
生徒指導	2		2	
教育相談	2		2	
教育実習ⅠA	1		1	
教育実習ⅠB	1		1	
教育実習Ⅱ	2		2	
教育実習Ⅲ	2		2	
栄養教育実習Ⅰ	1		1	
栄養教育実習Ⅱ	1		1	
教職実践演習(中・高)	2		2	
教職実践演習(栄養教諭)	2		2	
教職課外活動Ⅰ	1		1	
教職課外活動Ⅱ	1		1	
教職課外活動Ⅲ	1		1	
介護等体験	1		1	
学校経営と学校図書館	2		2	図書館情報学課程科目
読書と豊かな人間性	2		2	図書館情報学課程科目
情報メディアの活用	2		2	図書館情報学課程科目
学校図書館メディアの構成	2		2	図書館情報学課程科目
学習指導と学校図書館	2		2	図書館情報学課程科目
計	58		58	

< 第11条関係 >

(3) 人間生活学部

授業科目	開設単位数	必修単位数	選択単位数	備考
中等家庭科教育法Ⅰ	2		2	
中等家庭科教育法Ⅱ	2		2	
中等家庭科教育法Ⅲ	2		2	
中等家庭科教育法Ⅳ	2		2	
福祉科教育法Ⅰ	2		2	
福祉科教育法Ⅱ	2		2	
教育原理	2		2	
教師論	2		2	
教育制度論	2		2	
教育心理学	2		2	
特別支援教育論	2		2	
教育課程論	2		2	
道德教育	2		2	
特別活動の指導法・総合的 な学習の時間の指導法	2		2	
教育方法論	2		2	
教育現場でのICT活用	1		1	
生徒指導・進路指導	2		2	
生徒指導	2		2	
教育相談	2		2	
教育実習ⅠA	1		1	
教育実習ⅠB	1		1	
教育実習Ⅱ	2		2	
教育実習Ⅲ	2		2	
栄養教育実習Ⅰ	1		1	
栄養教育実習Ⅱ	1		1	
教職実践演習(中・高)	2		2	
教職実践演習(栄養教諭)	2		2	
北海道の教育	2		2	
教職課外活動Ⅰ	1		1	
教職課外活動Ⅱ	1		1	
教職課外活動Ⅲ	1		1	
介護等体験	1		1	
計	55		55	

< 第11条関係 >

別表第6 文学部 履修方法与卒業必要単位数

(1) 英語文化学科

授業科目区分 単位区分	基盤教育科目						英語文化 学科 専門科目	日本語・ 日本文 学科 専門科目	文化総 合学科 専門科 目	文学部 オープ ン科目
	① 建学の 理念科 目	② スタート アップセ ミナー	③ 教養実 践科目	④ 教養 コア 科目	⑤ 藤 プロ ジェク ト	⑥ 外国語 科目				
必修単位	2 単位	1 単位	3 単位				28単位 (*1)			
選択必修単位	2 単位 以上			4 単位 以上		8 単位 以上	28 単位 以上(*2)			
選択単位	4 単位以上									
自由選択単位	44単位以上									
卒業必要単位数合計	124単位以上									

i. 基盤教育科目の区分「外国語科目」は、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語のうち 1 外国語 8 単位以上選択必修。

ただし、第 63 条に定める外国人留学生の、区分「外国語科目」の履修における言語・科目の選択については、以下 a・b のとおりとする。

- a. 留学生を対象に開講する日本語科目も、「外国語科目」として履修することを認める。
- b. 母語(第一言語)、母国における公用語、又はそれに準ずる日常語(例: 中等教育の主たる教授言語)に相当する言語の科目を、「外国語科目」として履修することは、原則として認めない。

(*1) 英語文化学科の必修科目は、区分「学科基礎科目」の 18 単位、区分「実践英語科目・イングリッシュ・スキルズ」の「English Discussion & Presentation I」「English Discussion & Presentation II」の各 1 単位、区分「卒業研究関連科目」の「卒業研究演習」「卒業研究」の各 4 単位。「卒業研究演習」「卒業研究」については、キリスト教学専修を主専攻として選択した場合は、文学部オープン科目の「卒業研究演習」「卒業研究」各 4 単位で充当可。

(*2) 英語文化学科の選択必修科目は、区分「専門講読科目」のうち選択する専修の 2 単位を含む 2 単位以上、区分「基礎演習科目」のうち文学・文化専修と言語・コミュニケーション専修からそれぞれ 2 単位以上、区分「講義科目」のうち選択する専修から 8 単位、それ以外の専修から 4 単位以上および共通「国際教養講義」から 2 単位以上、区分「演習科目」のうち、選択する専修から 8 単位以上。

ただし、キリスト教学専修を主専攻として選択した場合は、区分「専門講読科目」から 2 単位以上、区分「基礎演習科目」のうち文学・文化専修と言語・コミュニケーション専修からそれぞれ 2 単位以上、区分「講義科目」については文学・文化専修と言語・コミュニケーション専修からそれぞれ 4 単位以上、共通から 2 単位以上、区分「演習科目」から 4 単位以上、合計 20 単位以上。

※教員免許に関する科目(「指導法に関する科目等」)は、指定された科目のうち 8 単位まで自由選択単位として算入できる。

※他学部学科専門科目は、12 単位まで自由選択単位として算入できる。

※協定校修得科目(本学教育課程表外の科目)は、12 単位まで自由選択単位として算入できる。

< 第18条関係 >

(2) 日本語・日本文学科

授業科目区分 単位区分	基盤教育科目						日本語・ 日本文 学科 専門科目	英語文化 学科 専門科目	文化総 合学科 専門科 目	文学部 オーブ ン科目
	① 建学の 理念科 目	② スタート アップセ ミナー	③ 教養実 践科目	④ 教養 コア 科目	⑤ 藤 プロ ジェク ト	⑥ 外国語 科目				
必修単位	2 単位	1 単位	3 単位				10 単位 (*1)			
選択必修単位	2 単位 以上			4 単位 以上		8 単位 以上	28 単位 以上(*2)			
選択単位	4 単位以上						16 単位 以上			
自由選択単位	46 単位以上									
卒業必要単位数合計	124 単位以上									

i. 基盤教育科目の区分「外国語科目」は、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語のうち 1 外国語 8 単位以上、または英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語の中から 2 外国語各 4 単位、合計 8 単位以上選択必修。

ただし、第 63 条に定める外国人留学生の、区分「外国語科目」の履修における言語・科目の選択については、以下 a・b のとおりとする。

a. 留学生を対象に開講する日本語科目も、「外国語科目」として履修することを認める。

b. 母語(第一言語)、母国における公用語、又はそれに準ずる日常語(例: 中等教育の主たる教授言語)に相当する言語の科目を、「外国語科目」として履修することは、原則として認めない。

(*1) 日本語・日本文学科の必修科目は、「日本語・日本文学科基礎演習」2 単位、及び「卒業研究ゼミⅡ」「卒業研究」の各 4 単位。キリスト教学専修を主専攻として選択した場合は、文学部オープン科目の「卒業研究演習」「卒業研究」各 4 単位で充当可。

(*2) 日本語・日本文学科専門科目の選択必修科目は、区分「共通」から 8 単位以上、選択した専修から 16 単位以上、選択しない専修から 4 単位以上。

ただし、キリスト教学専修を主専攻として選択した場合は、区分「共通」から 8 単位以上、日本語・日本文学専修と日本文化専修の講義科目からそれぞれ 4 単位以上、合計 16 単位以上。

※教員免許に関する科目(「指導法に関する科目等」)は、指定された科目のうち 8 単位まで自由選択単位として算入できる。

※他学部学科専門科目及び協定校修得科目(本学教育課程表外の科目)は、合わせて 12 単位まで自由選択単位として算入できる。

< 第18条関係 >

(3) 文化総合学科

授業科目区分 単位区分	基盤教育科目						文化総合 学科 専門科目	英語文化 学科 専門科目	日本語・日 本文学 学科 専門科 目	文学部 オー プ ン 科 目
	① 建学の 理念科 目	② スタート アップセ ミ ナー	③ 教養実 践科目	④ 教養 コア 科目	⑤ 藤 プロ ジェク ト	⑥ 外国語 科目				
必修単位	2 単位	1 単位	3 単位				8 単位 (*1)			
選択必修単位	2 単位 以上			4 単位 以上		8 単位 以上	32 単位 以上(*2)			
選択単位	4 単位以上									
自由選択単位	60 単位以上									
卒業必要単位数合計	124 単位以上									

i. 基盤教育科目の区分「外国語科目」は、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語のうち 1 外国語 8 単位以上選択必修。

ただし、第 63 条に定める外国人留学生の、区分「外国語科目」の履修における言語・科目の選択については、以下 a・b のとおりとする。

a. 留学生を対象に開講する日本語科目も、「外国語科目」として履修することを認める。

b. 母語(第一言語)、母国における公用語、又はそれに準ずる日常語(例: 中等教育の主たる教授言語)に相当する言語の科目を、「外国語科目」として履修することは、原則として認めない。

(*1) 文化総合学科の必修科目は「卒業研究演習」「卒業研究」各 4 単位。「卒業研究演習」「卒業研究」はキリスト教学専修を選択した場合は、文学部オープン科目の「卒業研究演習」「卒業研究」各 4 単位で充当可。

(*2) 文化総合学科の選択必修科目は、区分「文化総合学科基礎演習」から 4 単位、区分「講義科目」の「現代社会専修」のうち、「異文化コミュニケーション論入門」、「基礎法学 A(憲法)」、「国際関係論入門」、「心理学入門」から 4 単位以上、「歴史・思想専修」のうち「西洋史入門」、「日本史入門」、「哲学入門」、「倫理学入門」から 4 単位以上。区分「演習」から 4 単位以上、区分「講義科目」のうち特講科目を 16 単位以上、そのうち選択した専修から 12 単位以上。ただしキリスト教学専修を主専攻として選択した場合は、区分「文化総合学科基礎演習」から 4 単位、区分「講義科目」の「現代社会専修」のうち、「異文化コミュニケーション論入門」、「基礎法学 A(憲法)」、「国際関係論入門」、「心理学入門」から 4 単位以上、「歴史・思想専修」のうち「西洋史入門」、「日本史入門」、「哲学入門」、「倫理学入門」から 4 単位以上。区分「演習」から 4 単位以上、区分「講義科目」から特講科目を 4 単位以上、合計 20 単位以上。

※教員免許に関する科目(「指導法に関する科目等」)は、指定された科目のうち 8 単位まで自由選択単位として算入できる。

※他学部学科専門科目は、12 単位まで自由選択単位として算入できる。

※協定校修得科目(本学教育課程表外の科目)は、12 単位まで自由選択単位として算入できる。

< 第18条関係 >

別表第7-1 ウェルビーイング学部 履修方法と卒業必要単位数

(1) 地域創生学科

授業科目区分 単位区分	基盤教育科目						地域創生学科 専門科目
	①建学の 理念科目	②スタート アップセミ ナー	③教養 実践科 目	④教 養コア 科目	⑤藤プロ ジェクト	⑥外国語科目 (外国人留学生の場 合は i.a~c 参照)	
必修単位	2単位	1単位	3単位			2単位	32単位
選択必修単位	2単位 以上			4単位 以上		4単位 以上	20単位以上
選択単位							24単位以上
自由選択単位	30単位以上						
卒業必要単位数合計	124単位以上						

i. 基盤教育科目は、区分「建学の理念科目」の必修科目以外の科目から2単位以上、区分「教養コア科目」から4単位以上、区分「外国語科目」から4単位以上選択必修。ただし、第63条に定める外国人留学生の区分「外国語科目」の履修については、以下の通りとする。

- a. 留学生を対象に開講する日本語科目も、「外国語科目」として履修することを認める。
- b. 母語(第一言語)、母国における公用語、又はそれに準ずる日常語(例: 中等教育の主たる教授言語)に相当する言語の科目を、「外国語科目」として履修することは、原則として認めない。
- c. 英語が前項(b)の言語に該当する場合、ウェルビーイング学部における英語必修科目(Academic Communication I・II)の単位は英語以外の外国語科目(留学生日本語科目を含む)の単位をもって充当できるものとする。

ii. 学科専門科目は、小区分「地域創生の基礎」「衣生活科学」「食生活科学」「住生活科学」「家庭経営・家族学」「子ども・生涯発達科学」「社会福祉学」「ワークショップデザイン」「ソーシャルラーニング」「応用」からそれぞれ2単位以上選択必修。

※他学科専門科目は、12単位まで自由選択単位として算入できる。

※教員免許に関する科目(「指導法に関する科目等」)は、指定された科目のうち12単位まで自由選択単位として算入できる。

※他学部学科専門科目及び協定校修得科目(本学教育課程表外の科目)は、合わせて12単位まで自由選択単位として算入できる。

※他大学等で修得した単位は、12単位まで自由選択単位として算入できる。

< 第18条関係 >

(2) 食環境マネジメント学科

授業科目区分 単位区分	基盤教育科目						食環境マネジメント学科 専門科目
	①建学の 理念科目	②スタート アップセミ ナー	③教養 実践科 目	④教 養コア 科目	⑤藤プロ ジェクト	⑥外国語科目 (外国人留学生の場 合は i .a～c 参照)	
必修単位	2単位	1単位	3単位			2単位	79単位
選択必修単位	2単位 以上			4単位 以上		4単位 以上	
選択単位							27単位以上
自由選択単位	2単位以上						
卒業必要単位数合計	126単位以上						

i .基盤教育科目は、区分「建学の理念科目」の必修科目以外の科目から2単位以上、区分「教養コア科目」から4単位以上、区分「外国語科目」から4単位以上選択必修。ただし、第63条に定める外国人留学生の区分「外国語科目」の履修については、以下の通りとする。

- a. 留学生を対象に開講する日本語科目も、「外国語科目」として履修することを認める。
- b. 母語(第一言語)、母国における公用語、又はそれに準ずる日常語(例:中等教育の主たる教授言語)に相当する言語の科目を、「外国語科目」として履修することは、原則として認めない。
- c. 英語が前項(b)の言語に該当する場合、ウェルビーイング学部における英語必修科目(Academic Communication I・II)の単位は英語以外の外国語科目(留学生日本語科目を含む)の単位をもって充当できるものとする。

※他学科専門科目、他学部学科専門科目、教員免許に関する科目(「指導法に関する科目等」(指定科目)及び協定校修得科目(本学教育課程表外の科目)は、合わせて8単位まで選択単位として算入できる。

< 第18条関係 >

(3) 子ども教育学科

授業科目区分 単位区分	基盤教育科目						子ども教育学科 専門科目
	①建学の 理念科目	②スタート アップセミ ナー	③教養 実践科 目	④教 養コア 科目	⑤藤プロ ジェクト	⑥外国語科目 (外国人留学生の場 合は i.a~c 参照)	
必修単位	2単位	1単位	3単位			2単位	11単位
選択必修単位	2単位 以上			4単位 以上		4単位 以上	幼免・小免 指定科目から 48単位以上
選択単位							
自由選択単位	50単位以上						
卒業必要単位数合計	127単位以上						

i. 基盤教育科目は、区分「建学の理念科目」の必修科目以外の科目から2単位以上、区分「教養コア科目」から4単位以上、区分「外国語科目」から4単位以上選択必修。ただし、第63条に定める外国人留学生の区分「外国語科目」の履修については、以下の通りとする。

- a. 留学生を対象に開講する日本語科目も、「外国語科目」として履修することを認める。
- b. 母語(第一言語)、母国における公用語、又はそれに準ずる日常語(例: 中等教育の主たる教授言語)に相当する言語の科目を、「外国語科目」として履修することは、原則として認めない。
- c. 英語が前項(b)の言語に該当する場合、ウェルビーイング学部における英語必修科目(Academic Communication I・II)の単位は英語以外の外国語科目(留学生日本語科目を含む)の単位をもって充当できるものとする。

※他学科専門科目、他学部学科専門科目、協定校修得科目(本学教育課程表外の科目)及び他大学等で修得した科目は、合わせて8単位まで自由選択単位として算入できる。

< 第18条関係 >

別表第7-2 人間生活学部 履修方法と卒業必要単位数

(1) 人間生活学科

単位区分	大学共通科目		人間生活学科 専門科目
	教養科目	外国語科目	
必修単位	3単位	2単位	20単位
選択必修単位	10単位	4単位以上	40単位以上(*)
選択単位	11単位以上		
自由選択単位	37単位以上		
卒業必要単位数合計	127単位以上		

・教養科目は、区分「人間と宗教」から2単位以上、区分「人間形成」のうち、「国際理解」「社会と文化」「歴史・思想」から2単位以上、「自然・科学」「健康」から2単位以上、区分「リテラシー」から4単位以上選択必修。

(*)2年次からは、「現代家政専修」、「社会福祉専修」、「プロジェクトマネジメント専修」の3専修のうち、選択した専修の条件に従って履修する。人間生活学科専門科目の選択必修単位は、所属する専修が指定する科目から40単位以上修得する。その内、次のとおり専修ごとに定める科目の単位を必ず修得すること。

- ・現代家政専修の場合、12単位。
- ・社会福祉専修の場合、10単位。
- ・プロジェクトマネジメント専修の場合、20単位。

※他学科専門科目は、12単位まで自由選択単位として算入できる。

※教員免許に関する科目（「指導法に関する科目等」）は、指定された科目のうち12単位まで自由選択単位として算入できる。

※他学部学科専門科目及び協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）は、合わせて12単位まで自由選択単位として算入できる。

※他大学等で修得した単位は、12単位まで自由選択単位として算入できる。

< 第18条関係 >

(2) 食物栄養学科

単位区分	大学共通科目		食物栄養学科 専門科目
	教養科目	外国語科目	
必修単位	3単位	2単位	83単位
選択必修単位	8単位以上	4単位以上	
選択単位	13単位以上		15単位以上
自由選択単位	2単位以上		
卒業必要単位数合計	130単位以上		

・教養科目は、区分「人間と宗教」から2単位以上、区分「人間形成」のうち、「国際理解」「社会と文化」「歴史・思想」から2単位以上、「自然・科学」「健康」から2単位以上、区分「リテラシー」から2単位以上選択必修。

※他学科専門科目、他学部学科専門科目、教員免許に関する科目（「指導法に関する科目等」）（指定科目）及び協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）は、合わせて8単位まで選択単位として算入できる。

< 第18条関係 >

(3) 子ども教育学科

単位区分	大学共通科目		子ども教育学科 専門科目
	教養科目	外国語科目	
必修単位	3単位	2単位	12単位
選択必修単位	8単位以上	4単位以上	幼免・小免指定科目から 48単位以上
選択単位	1単位以上		
自由選択単位	49単位以上		
卒業必要単位数合計	127単位以上		

・教養科目は、区分「人間と宗教」から2単位以上、区分「人間形成」のうち、「国際理解」「社会と文化」「歴史・思想」から2単位以上、「自然・科学」「健康」から2単位以上、区分「リテラシー」から2単位以上選択必修。

※他学科専門科目、他学部学科専門科目、協定校修得科目(本学教育課程表外の科目)及び他大学等で修得した科目は、合わせて8単位まで自由選択単位として算入できる。

< 第18条関係 >

別表第8 教育職員免許状の種類と免許教科の種類

学部	学科	免許状の種類	免許教科
文学部	英語文化学科	中学校教諭1種免許状 高等学校教諭1種免許状	外国語(英語) 外国語(英語)
	日本語・日本文学科	中学校教諭1種免許状 高等学校教諭1種免許状	国語 国語・書道
	文化総合学科	中学校教諭1種免許状 高等学校教諭1種免許状	社会 地理歴史・公民
ウェルビーイング学部	地域創生学科	中学校教諭1種免許状 高等学校教諭1種免許状	家庭 家庭
	食環境マネジメント学科	栄養教諭1種免許状	
	子ども教育学科	幼稚園教諭1種免許状 小学校教諭1種免許状 特別支援学校教諭1種免許状	
人間生活学部	人間生活学科	中学校教諭1種免許状 高等学校教諭1種免許状	家庭 家庭・福祉
	食物栄養学科	栄養教諭1種免許状	
	子ども教育学科	幼稚園教諭1種免許状 小学校教諭1種免許状 特別支援学校教諭1種免許状	

< 第22条関係 >

別表第9 入学検定料

検定料	30,000 円
-----	----------

< 第26条関係 >

別表第10 授業料その他の納付金

年度	学部・学科	学年	費目		備考	
2026年度以降 入学生学費一覧	文学部	1年	入学金 授業料(年額) 教育充実費(年額)	260,000円 780,000円 200,000円	※転入生および編入生については、入学時の学年の金額を適用する。	
		2年～4年	授業料(年額) 教育充実費(年額)	780,000円 200,000円		
	ウェルビーイング学部	地域創生学科	1年	入学金 授業料(年額) 教育充実費(年額)		260,000円 820,000円 220,000円
			2年～4年	授業料(年額) 教育充実費(年額)		820,000円 220,000円
		食環境マネジメント学科	1年	入学金 授業料(年額) 教育充実費(年額)		260,000円 850,000円 250,000円
			2年～4年	授業料(年額) 教育充実費(年額)		850,000円 250,000円
		子ども教育学科	1年	入学金 授業料(年額) 教育充実費(年額)		260,000円 830,000円 230,000円
			2年～4年	授業料(年額) 教育充実費(年額)		830,000円 230,000円
	2019年度以降 入学生学費一覧	文学部	1年	授業料(年額) 教育充実費(年額)		706,000円 170,000円
			2年～4年	授業料(年額) 教育充実費(年額)		736,000円 170,000円
ウェルビーイング学部		地域創生学科	1年	授業料(年額) 教育充実費(年額)	738,000円 190,000円	
			2年～4年	授業料(年額) 教育充実費(年額)	768,000円 190,000円	
		食環境マネジメント学科	1年	授業料(年額) 教育充実費(年額)	768,000円 210,000円	
			2年～4年	授業料(年額) 教育充実費(年額)	798,000円 210,000円	
子ども教育学科		1年	授業料(年額) 教育充実費(年額)	750,000円 200,000円		
		2年～4年	授業料(年額) 教育充実費(年額)	780,000円 200,000円		
人間生活学部		人間生活学科	1年	授業料(年額) 教育充実費(年額)	738,000円 190,000円	
			2年～4年	授業料(年額) 教育充実費(年額)	768,000円 190,000円	
		食物栄養学科	1年	授業料(年額) 教育充実費(年額)	768,000円 210,000円	
			2年～4年	授業料(年額) 教育充実費(年額)	798,000円 210,000円	
		子ども教育学科	1年	授業料(年額) 教育充実費(年額)	750,000円 200,000円	
			2年～4年	授業料(年額) 教育充実費(年額)	780,000円 200,000円	
2018年度以前 入学生学費一覧		文学部	1年～4年	授業料(年額) 教育充実費(年額)	707,500円 150,000円	
		人間生活学部 人間生活学科	1年～4年	授業料(年額) 教育充実費(年額)	738,700円 170,000円	

	食物栄養 学 科	1年～4年	授業料(年額) 教育充実費(年額)	769,900 円 190,000 円
--	-------------	-------	----------------------	------------------------

図書館情報学課程 受講料	司書	50,000 円
	司書教諭	30,000 円

< 第41条関係 >

別表第11 図書館情報学課程に関する科目

(1) 司書となる資格を取得するための科目・単位数

区分		授業科目	単位数
必修科目	基礎科目	生涯学習概論	2
		図書館概論	2
		図書館制度・経営論	2
		図書館情報技術論	2
	図書館サービスに関する科目	図書館サービス概論	2
		児童サービス論	2
		情報サービス論	2
		情報サービス演習 A	1
		情報サービス演習 B	1
	図書館情報資源に関する科目	図書館情報資源概論	2
		情報資源組織論	2
		情報資源組織演習 A	1
情報資源組織演習 B		1	
選択科目	図書館に関する科目	図書館基礎特論	1
		図書館サービス特論	1
		図書館情報資源特論	1
		図書・図書館史	1
		図書館施設論	1
		図書館総合演習	1
	コミュニケーションに関する科目	コミュニケーション概論 a	2
		コミュニケーション概論 b	2
		法学特講 A-a(コミュニケーションと法)	2
		法学特講 A-b(コミュニケーションと法)	2
		ワークライフキャリアデザイン	2
		異文化コミュニケーション論	2
		対人関係トレーニング	1
	資料に関する科目	アーカイブズ論	2
		日本語学演習 I A	4
		日本語学演習 I B	4
		日本古典文学演習 I A	4
		日本古典文学演習 I B	4
日本古典文学演習 I C		4	
日本近現代文学演習 I A		4	
日本近現代文学演習 I B		4	
日本文化論演習 I A		4	
日本文化論演習 I B		4	
日本文化論演習 I C		4	
ラテン語 I-a		2	
ラテン語 I-b		2	
ラテン語 II-a		2	
ラテン語 II-b		2	
古典ギリシア語 a	2		
古典ギリシア語 b	2		
科学英語	1		
子ども文化論	2		

多様な主題の基礎科目	キリスト教と藤女子大学	2
	キリスト教人間学 A	2
	キリスト教人間学 B	2
	聖書概論 A	2
	聖書概論 B	2
	宗教と文化	2
	ジェンダー論	2
	国際関係論	2
	経済学	2
	社会学	2
	日本国憲法	2
	心理学	2
	音楽	2
	美術論	2
	子ども学	2
	西洋史	2
	日本史 A	2
	日本史 B	2
	哲学	2
	倫理学	2
	環境科学	2
	生命科学	2
	数学	2
	ライフステージ栄養学	2
	健康の科学	2
	運動の科学	2
	統計学	2
	情報処理の基礎	1
	データサイエンス基礎 I	2
	データサイエンス基礎 II	2
	データ分析演習	2
	プログラミング演習	2
	文学	2
	プロジェクト入門	2
	プロジェクト実践	2
	英語圏文学概論 a	2
	英語圏文学概論 b	2
	英語圏文化概論 a	2
	英語圏文化概論 b	2
	英語学概論 a	2
	英語学概論 b	2
	言語学概論 a	2
	言語学概論 b	2
生活環境基礎	2	
生活経営論	2	
社会福祉論	2	
高齢者福祉論	2	
ソーシャルワーク論	2	

	暮らしと社会保障	2
	プロジェクトマネジメント入門	2
	対人コミュニケーションの技法	2
	プロジェクトマネジメント基礎演習	2
	女性リーダーシップ論	2
	生化学	2
	解剖生理学 A	2
	解剖生理学 B	2
	食品化学	2
	調理科学	2
	食事摂取基準論	2
	現代社会と教育	2
	発達心理学	2
	子ども家庭福祉論	2
	計	221
必修13科目22単位を含む25単位以上修得すること*		

*選択科目の履修にあたっては、「図書館に関する科目」2科目2単位を含む、3科目3単位以上履修すること。

<第22条の3関係>

(2) 司書教諭となる資格を取得するための科目・単位数

区分		授業科目	単位数
必修科目	学校経営と学校図書館	学校経営と学校図書館	2
	学校図書館メディアの構成	学校図書館メディアの構成	2
	学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館	2
	読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性	2
	情報メディアの活用	情報メディアの活用	2
計			10

< 第22条の3関係 >

(3) 学校司書に必要な科目・単位数

区分		授業科目	単位数
必修科目	学校図書館の運営・管理 ・サービスに関する科目	学校経営と学校図書館	2
		図書館情報技術論	2
		図書館情報資源概論	2
		情報資源組織論	2
		情報資源組織演習 A	1
		情報資源組織演習 B	1
		学校図書館サービス論	2
		情報サービス論	2
	児童生徒に対する教育支援 に関する科目	学校教育概論	2
		学習指導と学校図書館	2
		読書と豊かな人間性	2
		計	20

< 第22条の3関係 >

別表第12 日本語教員養成課程に関する科目

区分	授業科目	開設 単位数	必修 単位数	選択 単位数	備考
言語	日本語文法 a	2	2		
	日本語文法 b	2	2		
	音声学	2	2		
	対照言語学	2		2	
	言語学概論 a	2		2	
	言語学概論 b	2		2	
	日本語学 A	2		2	
	日本語学 B	2		2	
言語と社会	社会言語学a	2	2		
	社会言語学b	2		2	
	コミュニケーション概論 a	2		2	
	コミュニケーション概論 b	2		2	
	異文化コミュニケーション論	2		2	
心理 言語と	日本語の学習と習得	2	2		
	第二言語習得概論	2		2	
	教育心理学	2		2	
社会・文化・ 地域	日本語教育概論	2	2		
	日本文化 A	2		2	
	日本文化 B	2		2	
	国際関係論	2		2	
	グローバル文化論	2		2	
教育 言語と	日本語教授法a	2	2		
	日本語教授法b	2	2		
	コミュニケーション教育	2		2	
	教育方法論(教育現場での ICT 活用を含む)	2		2	
教育実習 日本語	日本語教育実習	2		2	
	海外日本語教育実習	2		2	
計		54	16	38	

< 第22条の4関係 >

別表第13 社会福祉士国家試験受験資格を取得するための実習演習科目等履修方法

	実習演習科目	単位数	前提科目	単位数	併行履修科目	単位数
授 業 科 目	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	ソーシャルワーク入門演習	2	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	社会福祉論	2	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1	子ども家庭福祉論Ⅰ	2		
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2	高齢者福祉論Ⅰ	2		
			ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	2		
			ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2		
	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ	1	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	ソーシャルワーク演習Ⅲ	4
	ソーシャルワーク実習指導Ⅴ	1	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1		
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1		
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	2	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2		

注1 前提科目は、原則として実習演習科目の履修開始までに修得済みであること。

注2 「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」及び「ソーシャルワーク実習Ⅰ」は、「ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ」と併行履修すること。

注3 「ソーシャルワーク実習指導Ⅳ・Ⅴ」、「ソーシャルワーク実習Ⅱ」及び「ソーシャルワーク演習Ⅳ」は、「ソーシャルワーク演習Ⅲ」と併行履修すること。

〈第22条の5関係〉

別表第14 管理栄養士国家試験受験資格取得に関する科目

(1)食環境マネジメント学科

教育内容		単位数		授業科目	単位数		
		講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習	
専門基礎分野	社会・環境と健康	6	10	公衆衛生学A	2		
				公衆衛生学B	2		
	高齢者健康論	2					
	社会・環境と健康の小計			6	0		
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14		生化学	2		
				解剖生理学A	2		
				解剖生理学B	2		
				解剖生理学実験		2	
				疾病医療学A	2		
				疾病医療学B	2		
疾病医療学C			2				
分子栄養学			2				
栄養生理学・生化学実験		1					
人体の構造と機能及び疾病の成り立ちの小計		14	3				
食べ物と健康	8	食品化学	2				
		食品加工学	2				
		食品実験Ⅰ		2			
		食品実験Ⅱ		1			
		調理科学	2				
		調理実習Ⅰ		2			
		調理実習Ⅱ		2			
		食品衛生学	2				
食べ物と健康の小計		8	7				
		28	10	専門基礎分野小計		28	10

専門分野	基礎栄養学	2	8	基礎栄養学 栄養学実験	2	1	
				基礎栄養学の小計	2	1	
	応用栄養学	6		食事摂取基準論 ライフステージ応用栄養学 環境・スポーツ栄養学 応用栄養学実習	2 2 2	2	
				応用栄養学の小計	6	2	
	栄養教育論	6		栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ 栄養教育論演習Ⅰ 栄養教育論演習Ⅱ 栄養教育論実習	2 2 1 1	1	
				栄養教育論の小計	6	1	
	臨床栄養学	8		臨床栄養学A 臨床栄養学B 臨床栄養学C 臨床栄養管理論 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ	2 2 2 2	2 2	
				臨床栄養学の小計	8	4	
	公衆栄養学	4		公衆栄養学A 公衆栄養学B 地域栄養学実習	2 2	1	
				公衆栄養学の小計	4	1	
	給食経営管理論	4		給食経営管理論Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ 給食経営管理実習Ⅰ	2 2	2	
				給食経営管理論の小計	4	2	
	総合演習	2		総合演習A 総合演習B 管理栄養士演習Ⅰ 管理栄養士演習Ⅱ 対人関係トレーニング	1 1 2 2	0	
				総合演習の小計	7	0	
	臨地実習			4	臨床栄養学実習Ⅲ 公衆栄養学実習 給食経営管理実習Ⅱ		2 1 1
					臨地実習の小計	0	4
	32	12	専門分野小計	37	15		
	82		合計	90			

<第22条の6関係>

(2) 食物栄養学科

教育内容		単位数		授業科目	単位数	
		講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習
専門基礎分野	社会・環境と健康	6	10	食生活論	2	
				公衆衛生学 A	2	
				公衆衛生学 B	2	
	社会・環境と健康の小計			6	0	
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14		生化学 A	2	
				生化学 B	2	
				解剖生理学 A	2	
				解剖生理学 B	2	
				解剖生理学実験		2
				疾病医療学 A	2	
疾病医療学 B			2			
疾病医療学 C			2			
分子栄養学	2					
栄養生理学・生化学実験		1				
人体の構造と機能及び疾病の成り立ちの小計		16	3			
食べ物と健康	8	食品化学 A	1			
		食品化学 B	2			
		食品加工学 I	1			
		食品実験 I		2		
		食品実験 II		1		
		食品機能学 I	1			
		調理科学	2			
		調理実習 I		2		
		調理実習 II		2		
		微生物学	2			
		食品衛生学	2			
食べ物と健康の小計		11	7			
		28	10	専門基礎分野小計	33	10

専門分野	基礎栄養学	2	8	基礎栄養学 栄養学実験	2	1	
				基礎栄養学の小計	2	1	
	応用栄養学	6		食事摂取基準論 ライフステージ応用栄養学 環境・スポーツ栄養学 応用栄養学実習	2 2 2	2	
				応用栄養学の小計	6	2	
	栄養教育論	6		栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ 栄養教育論演習Ⅰ 栄養教育論演習Ⅱ 栄養教育論実習	2 2 1 1	1	
				栄養教育論の小計	6	1	
	臨床栄養学	8		臨床栄養学A 臨床栄養学B 臨床栄養学C 臨床栄養管理論 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ	2 2 2 2	2 2	
				臨床栄養学の小計	8	4	
	公衆栄養学	4		公衆栄養学A 公衆栄養学B 地域栄養学実習	2 2	1	
				公衆栄養学の小計	4	1	
	給食経営管理論	4		給食経営管理論Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ 給食経営管理実習Ⅰ	2 2	2	
				給食経営管理論の小計	4	2	
	総合演習	2		総合演習A 総合演習B 管理栄養士演習Ⅰ 管理栄養士演習Ⅱ 対人関係トレーニング	1 1 2 2 1	0	
				総合演習の小計	7	0	
	臨地実習			4	臨床栄養学実習Ⅲ 公衆栄養学実習 給食経営管理実習Ⅱ		2 1 1
					臨地実習の小計	0	4
	32	12	専門分野小計	37	15		
	82		合計	95			

< 第22条の6関係 >